

(6) 博物館

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、博物館を1館保有しています。施設の管理運営は、指定管理者に委託しています。

設置目的：自然、歴史、民俗、産業、美術、工芸などを取り扱う総合博物館として、これらの資料を系統的に収集、保存、調査研究、公開することにより、郷土の文化に対する理解を深めるとともに、美術館的機能、文書館的機能、情報センター機能を兼ね備えた複合施設として、より一層市民の学習活動、文化活動の向上を図ることを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	土地 所有	備考
宮寺・ 二本木	1 博物館	二本木100	6,546.31	平成5	RC造	市	

昭和●：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す（令和6（2024）年度基準）

出典：「延床面積」 令和4（2022）年度固定資産台帳

② 事業内容

入間市の自然や歴史などを総合的に扱う博物館です。

愛称のALIT（アリット）は、美術館的機能（Art）・文書館的機能（Archives）、ライブラリー機能（Library）、情報センター機能（Information）、お茶（Tea）を表しています。主催事業として各種展覧会、講座・講演会を開催するほか、市民に創作発表の場（市民ギャラリー）、文化活動の場（茶室、体験学習室、講座室）を提供しています。

地域の重要な文書などを収集・公開し、その活用を図る文書館機能、地域やお茶に関する図書類・映像ソフトの閲覧、視聴ができるライブラリー機能、地域の歴史・民俗・自然・文化等に関する調査研究を行い、講座や刊行物等によって公開する地域の情報センター機能を持っています。

狭山茶をはじめとする日本各地や世界のお茶の製造・喫茶風習、茶道文化などに関する調査研究、情報提供を行っており、お茶の博物館としての機能を有しています。主催事業のほかに出前講座（学校教育支援講座・入間市生涯学習茶の都（ちゃのくに）出前講座等）を行っており、令和2（2020）年度のコロナ禍以降は、オンラインによる事業にも取り組んでいます。さらに、狭山茶の主産地にある「お茶の博物館」として、また広い芝生の庭は皆さんの憩いの場として、幅広い役割を果たしています。敷地内には本格的な茶事が行える茶室や、市内の希少な植物が観察できる野草保存林、お茶料理が味わえるレストランなどもあります。

③ 開館時間・開館日数

開館時間	休館日	開館日数
午前 9 時～午後 5 時	月曜日（その日が祝日または振替休日の場合はその翌日）、 祝日の翌日（その日が土・日曜日または、祝日である場合は除く）、 年未年始（12 月 27 日～1 月 5 日）、館内整理日（毎月第 4 火曜日。ただし、祝日である場合は除く）	287 日

※開館日数は入間市施設カルテ令和 4（2022）年度の利用関連情報

④ 予約方法

使用日の 6 ヶ月前から 博物館資料閲覧室カウンターにて受け付けします。

■ 観覧料金

常設展示の観覧は有料です。

区分	個人	団体(20 人以上)
大人	200 円	160 円
高・大学生	100 円	80 円
小・中学生	50 円	40 円

※ 小学校就学前の方及び 65 歳以上の方は無料です。

※ 小学校就学前の方のみでのご観覧はお断りいたします。中学生以上の方の同伴が必要です。

※ 団体料金は、有料観覧者 20 人以上の場合に適用されます。

※ 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳をご持参の方及び、その介護者(障害者 1 人に対し 1 人まで)無料です。

※ 5 月 18 日（国際博物館の日）、11 月 1 日（市制施行記念日）及び 11 月 14 日（埼玉県民の日）は無料です。

※ 特別展示の観覧料は、別途必要な場合があります

貸室の利用料金は以下の通りです。

	午前	午後	夜間	全日
	9 時～12 時	1 時～5 時	午後 5 時半～ 午後 9 時半	午前 9 時～ 午後 9 時半
茶室[青丘庵]	2,100 円	2,800 円	2,800 円	7,700 円
特別展示室	-----	-----	-----	2,600 円
市民ギャラリー	-----	-----	-----	3,500 円
講座室	1,500 円	2,000 円	2,000 円	5,500 円
体験学習室	450 円	600 円	600 円	1,650 円

⑤ 配置状況

博物館は宮寺・二本木地区に設置されています。

図表 博物館位置図



⑥ スペース構成

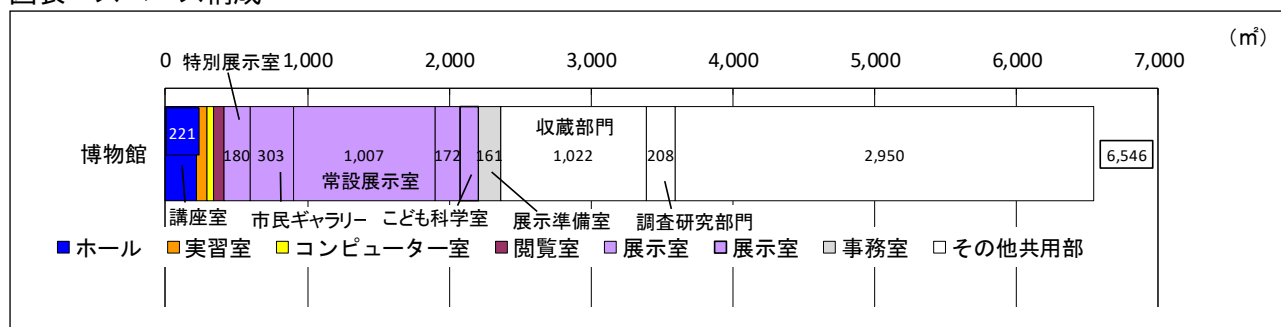
博物館は 6,546 m²となっています。

特別展示室・常設展示室等の展示室を持ち、200 インチの大型スクリーンを持つ 142 席の講座室を保有しています。

その他の主な保有スペースは、温度差などを管理し、良好な状態で資料を保存するための収蔵庫などの収蔵部門、研究室などの調査研究部門、実習室機能として体験学習室、その他に資料閲覧室、情報センター室等を保有しています。

また、館外に茶室 [青丘庵]、レストラン、体験茶園を保有しています。

図表 スペース構成



2) 実態把握

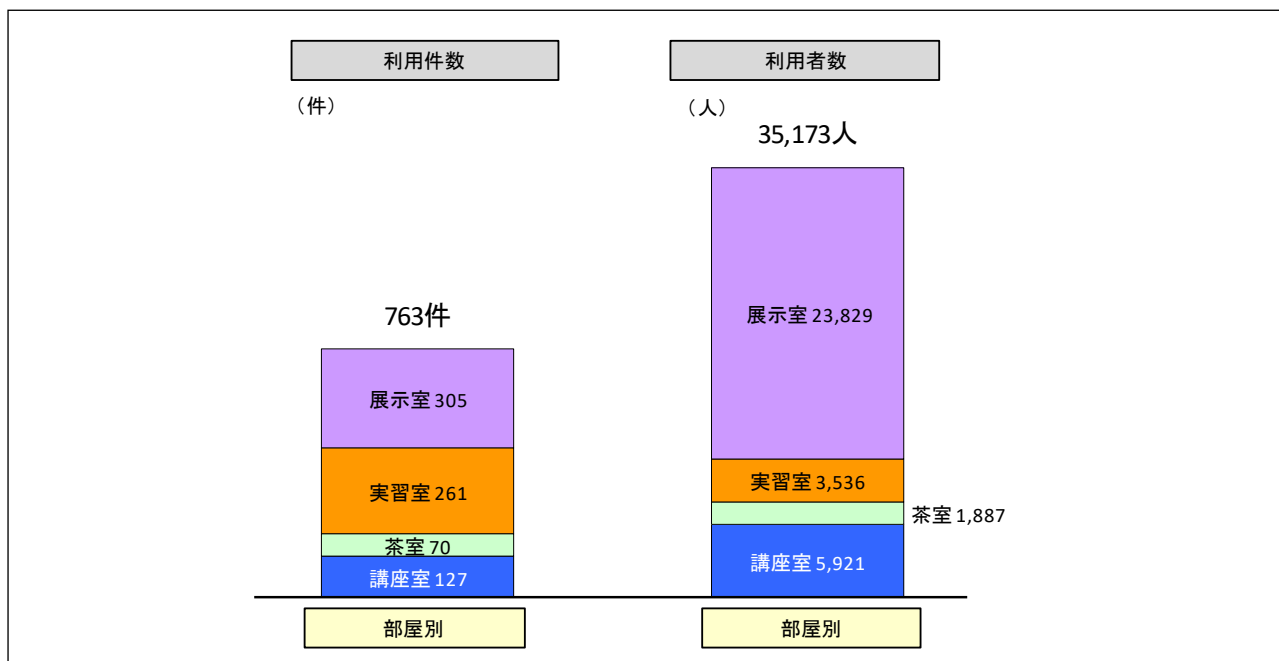
① 利用状況

■ 全体の利用状況

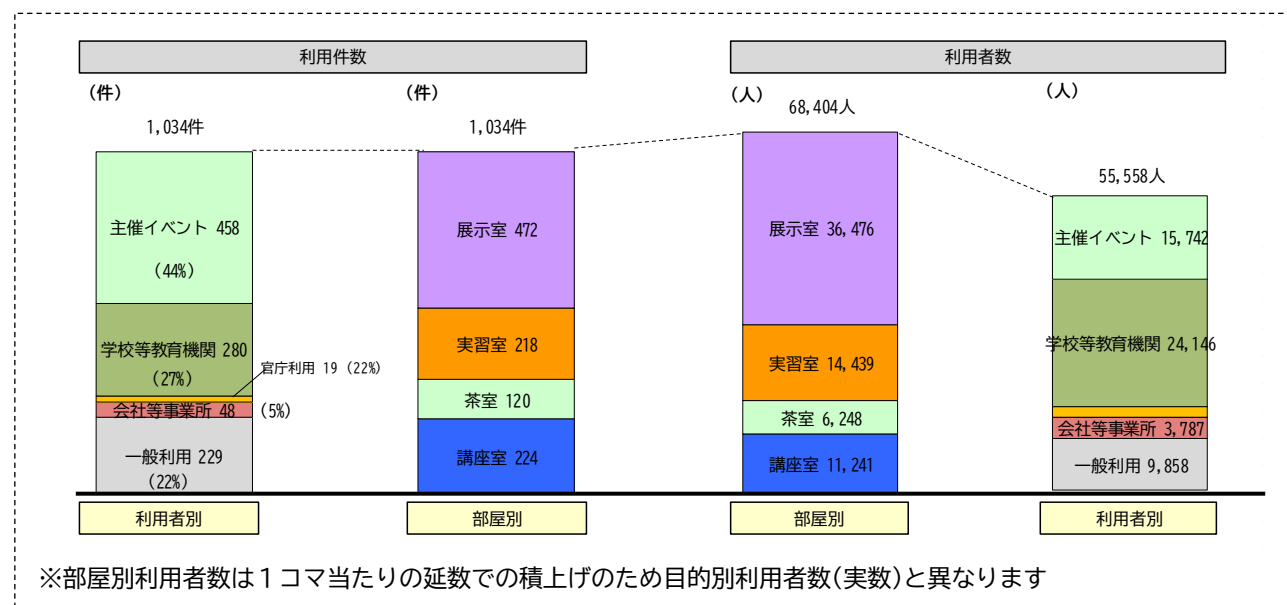
令和4（2022）年度の博物館の全体利用件数は763件、利用者数は3万5,173人です。

利用件数・利用者数を部屋別にみると、利用件数では展示室が305件（約40%）、次いで実習室の利用が261件（約34%）となっています。利用者数は展示室が2万3,829人（68%）で、次が講座室5,921人（17%）となっています。平成24（2012）年度と比較すると利用件数・利用者数ともに減少しています。

図表 年間利用者数・利用件数（令和4（2022）年度）



【参考】年間利用件数・利用者数（前回白書【平成24（2012）年度】）



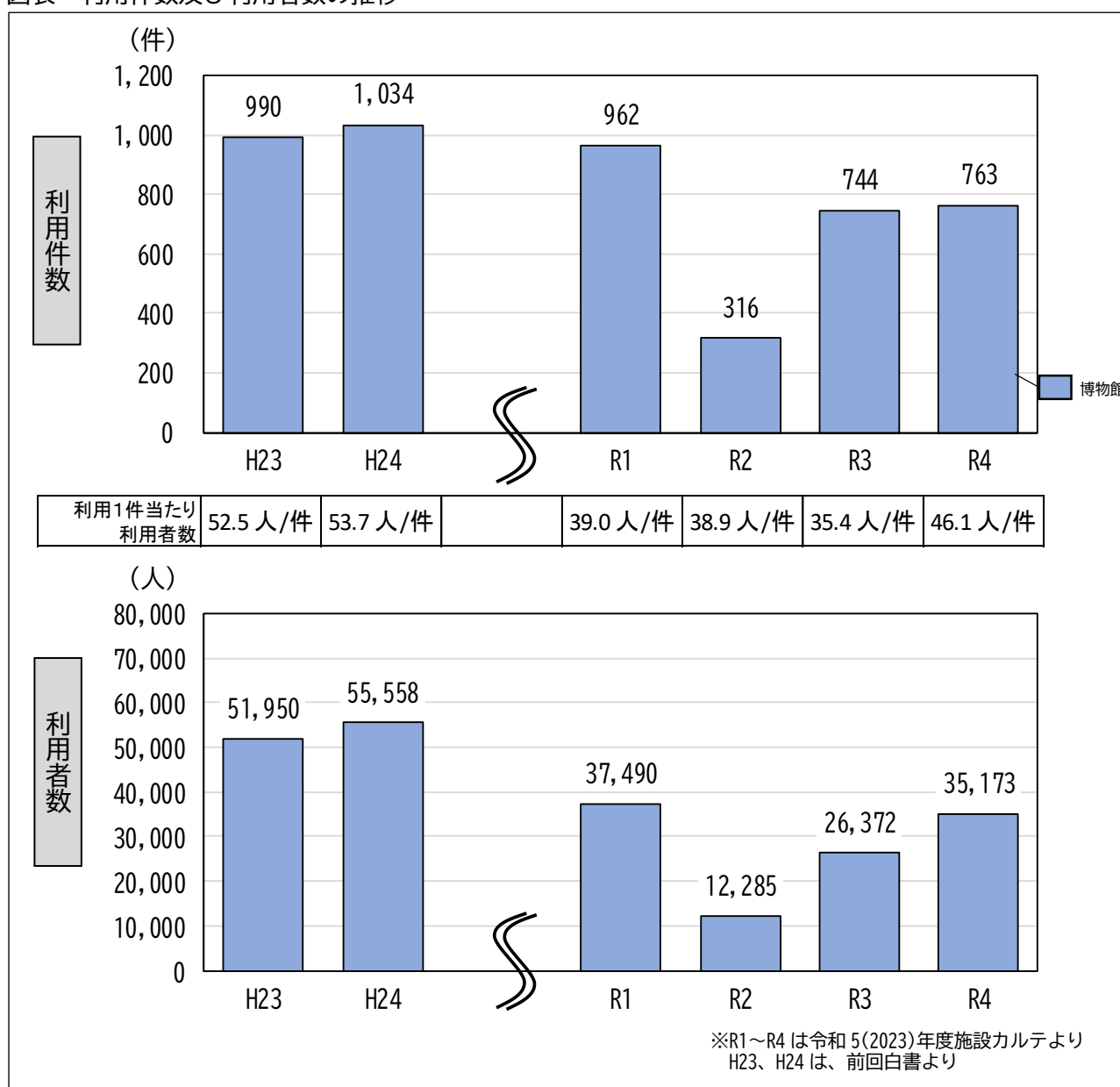
■ 利用推移

利用件数の推移は、平成 24（2012）年度の 1,034 件に対して、令和 4（2022）年度は 763 件と減少傾向を示しています。利用者数も同様に、平成 24（2012）年度の 5 万 5,558 人に対して、令和 2（2020）年度には 1 万 2,285 人まで大幅に減少し、その後、徐々に回復しており、令和 4（2022）年度は 3 万 5,173 人です。

令和 4（2022）年度の利用 1 件当たりの利用者数は 46.1 人/件で、令和 3（2021）年度に比べて 10 人以上増加していますが、平成 24（2012）年度以前の水準には届いていません。

なお、コロナ禍以降、オンラインによる事業にも取り組んでおり、多様な利用者へのアプローチを行っています。

図表 利用件数及び利用者数の推移



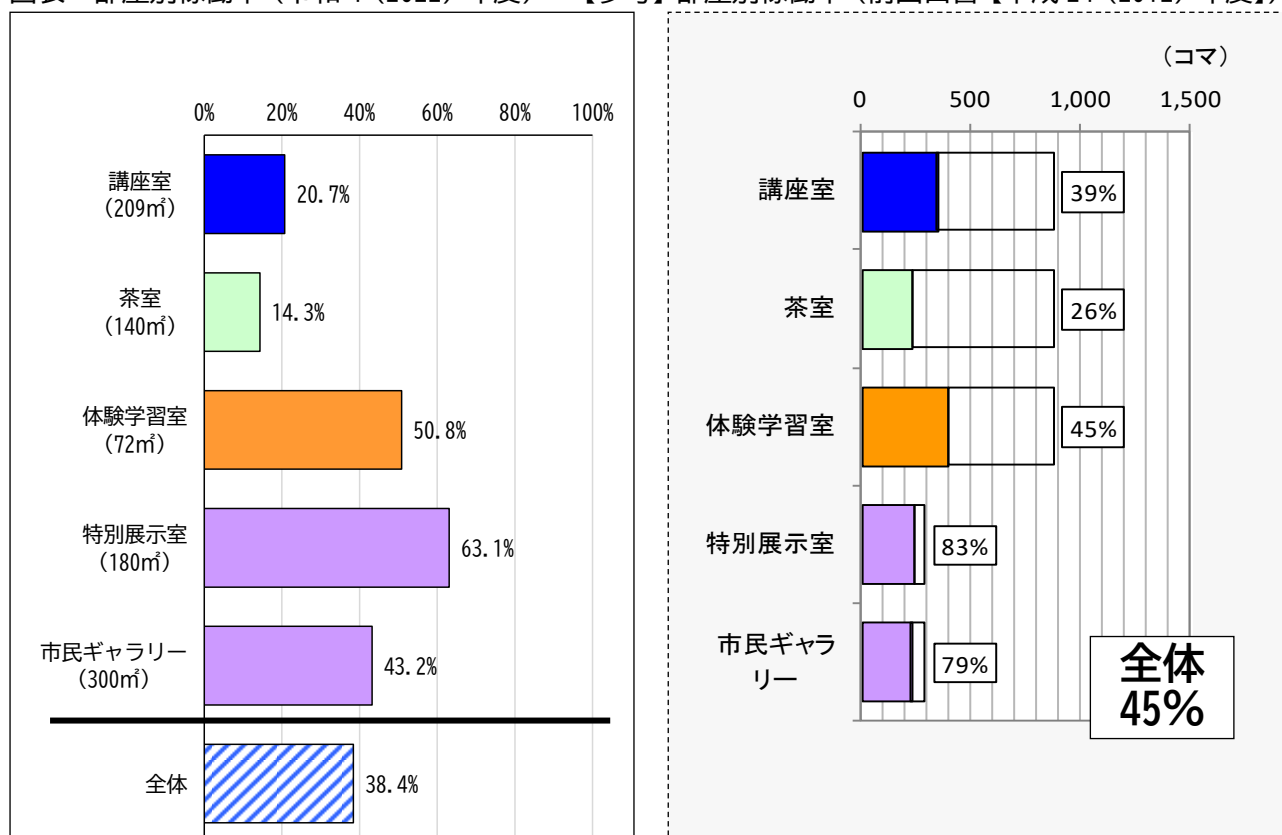
※令和 2（2020）～4（2022）年度の利用関連情報は、新型コロナウイルスの影響を受けています。

■ 施設別稼働率及び施設別部屋別稼働率

茶室〔青丘庵〕、特別展示室・市民ギャラリー、講座室、体験学習室は貸室として利用できます。貸室全体の稼働率は約 38%です。

部屋別にみると、講座室は 21%、茶室は 14%、体験学習室は 51%、特別展示室は 63%、市民ギャラリーは 43%となっており、平成 24（2012）年度と比較すると、体験学習室を除く全部屋で稼働率は減少しています。特に、利用の形態が会議・集会機能とは異なる特別展示室や市民ギャラリーなどの作品・資料等の展示スペースとして活用されている部屋は、40%以上は稼働しているものの、平成 24（2012）年度より 20 ポイント以上減少しています。

図表 部屋別稼働率（令和 4（2022）年度） 【参考】部屋別稼働率（前回白書【平成 24（2012）年度】）



② 運営状況

博物館の管理運営は、平成 30（2018）年度より、指定管理者が行っています。

令和 4（2022）年度の博物館の運営人員は 24 人です。内訳は、正職員が 10 人、嘱託職員が 1 人、パート職員が 13 人となっています。

図表 運営人員（令和 4（2022）年度）（人）

		博物館
	運営形態	指定管理
管理運営に 要する人員	正職員	10
	嘱託職員	1
	パート職員	13
	計	24

③ コスト情報

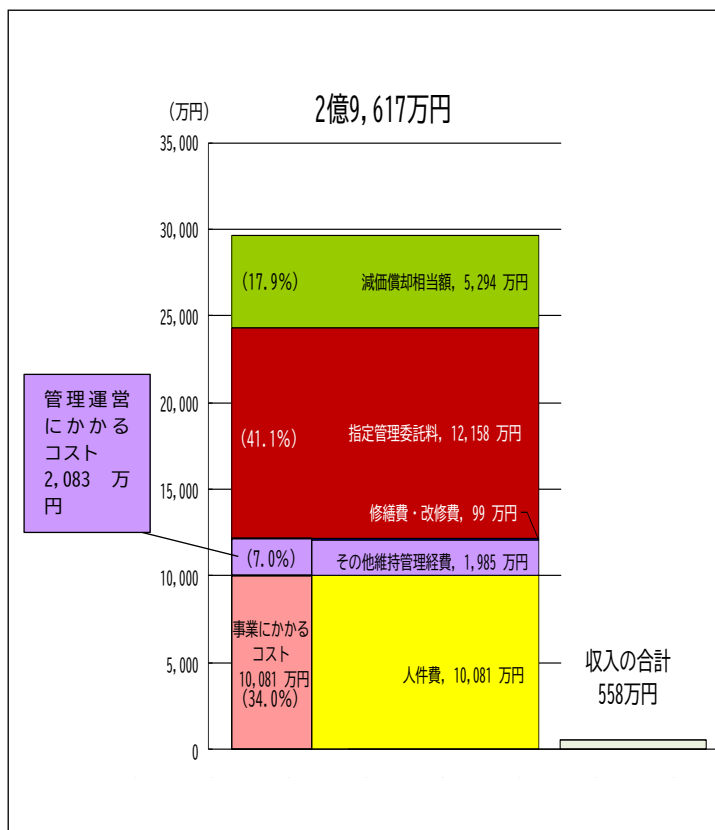
博物館の年間トータルコストは、2億9,617万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは2,083万円（7%）、事業にかかるコストは1億81万円（34%）、施設の維持管理を委託している指定管理委託料は1億2,158万円（41%）、減価償却相当額は5,294万円（18%）です。

図表 施設別行政コスト計算書（令和4（2022）年度）

図表 トータルコスト（令和4（2022）年度）

(円)		
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		博物館等
管理運営にかかるコスト	修繕費	13,750
	改修費	974,600
	使用料及び賃借料	16,410,565
	その他物件費	3,410,698
	燃料費	29,436
	管理運営にかかるコスト	20,839,049
事業にかかるコスト	人件費合計	100,812,000
	事業にかかるコスト	100,812,000
指定管理委託料		121,583,211
現金収支を伴うコスト 計		243,234,260
【収入の部】		
収入	使用料収入	5,583,360
収入の合計		5,583,360
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	52,935,541
III. 総括		
コストの部合計（トータルコスト）		296,169,801



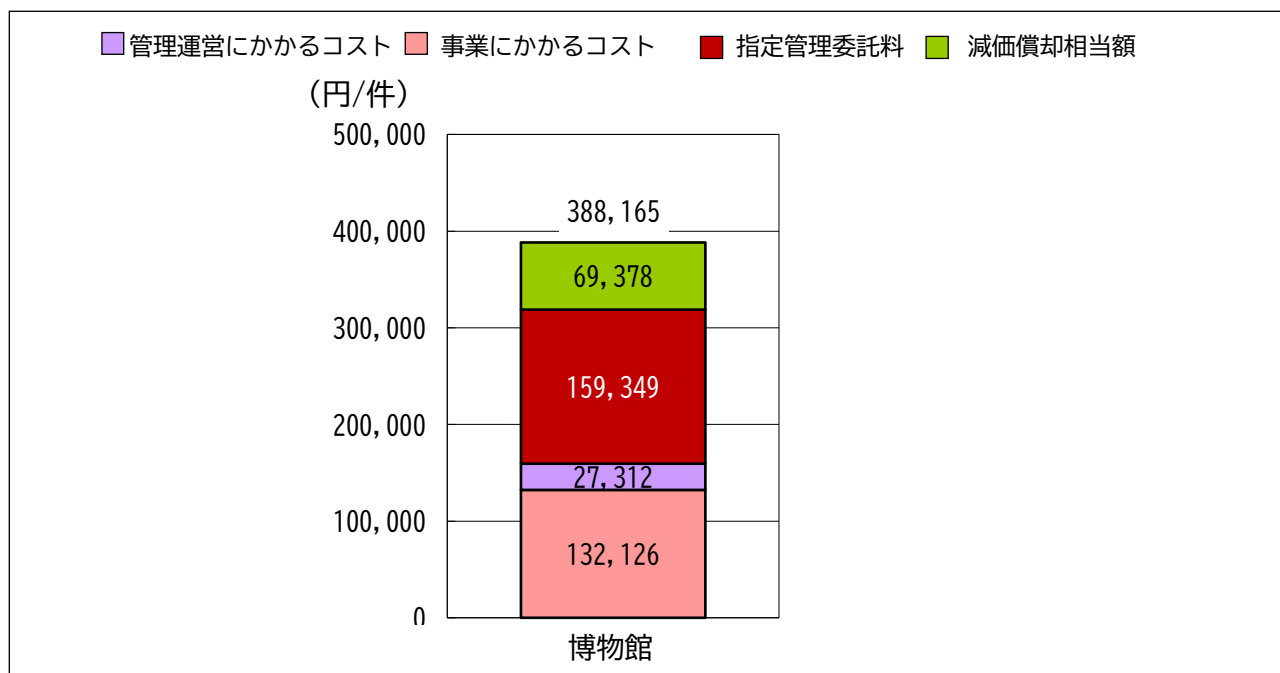
3) 分析

■ 利用 1 件当たりのコスト

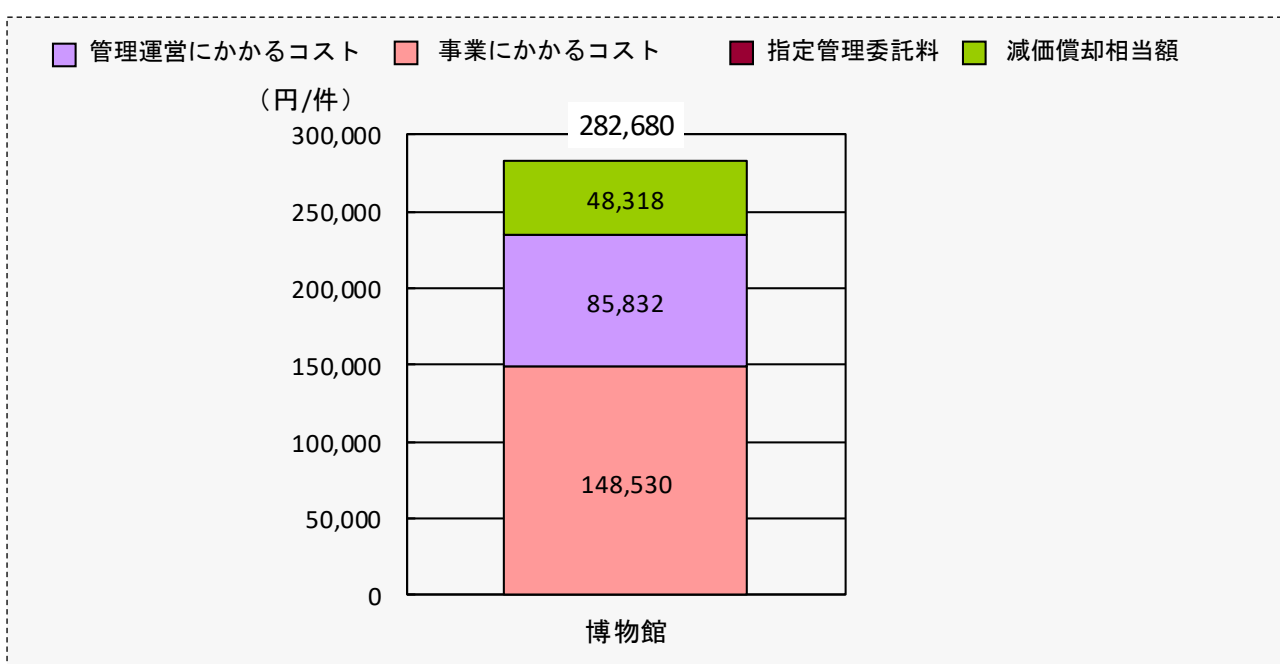
年間利用件数とトータルコストから、利用 1 件当たりにかかるコストを算出すると、38 万 8,165 円/件となっています。

平成 24（2012）年度と比較すると、利用 1 件当たりにかかるコストは増加しています。

図表 利用 1 件当たりのコスト（令和 4（2022）年度）



【参考】利用 1 件当たりのコスト（前回白書【平成 24（2012）年度】）

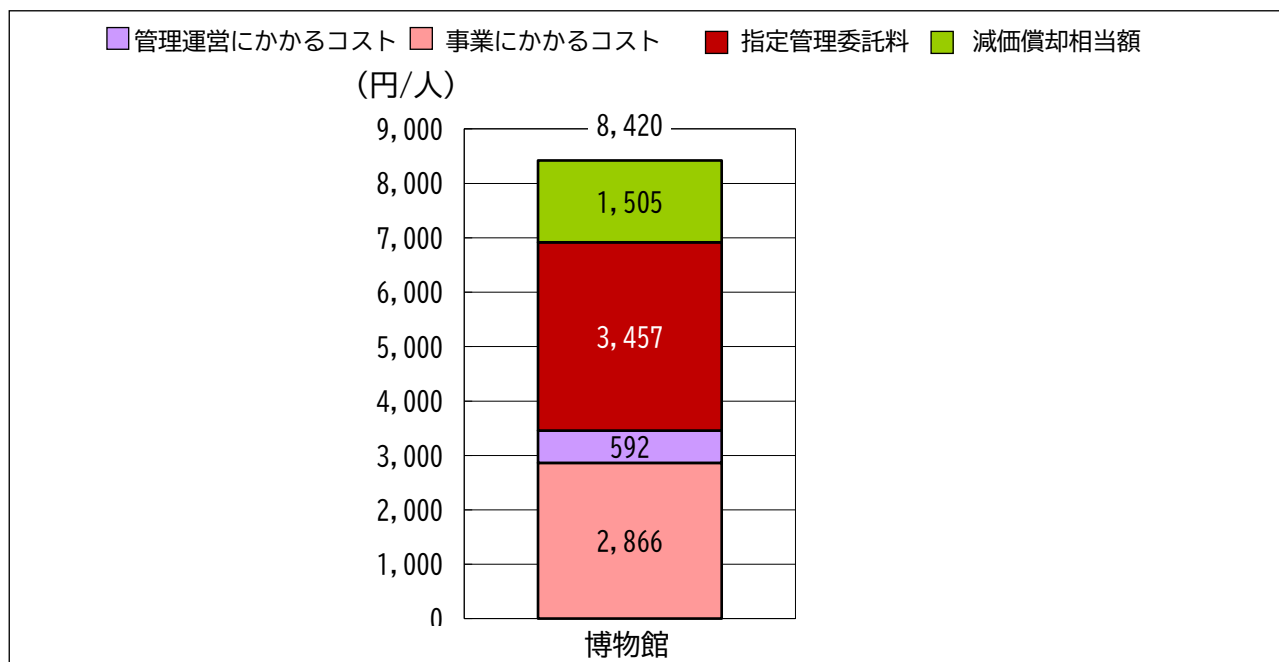


■ 利用者 1 人当たりのコスト

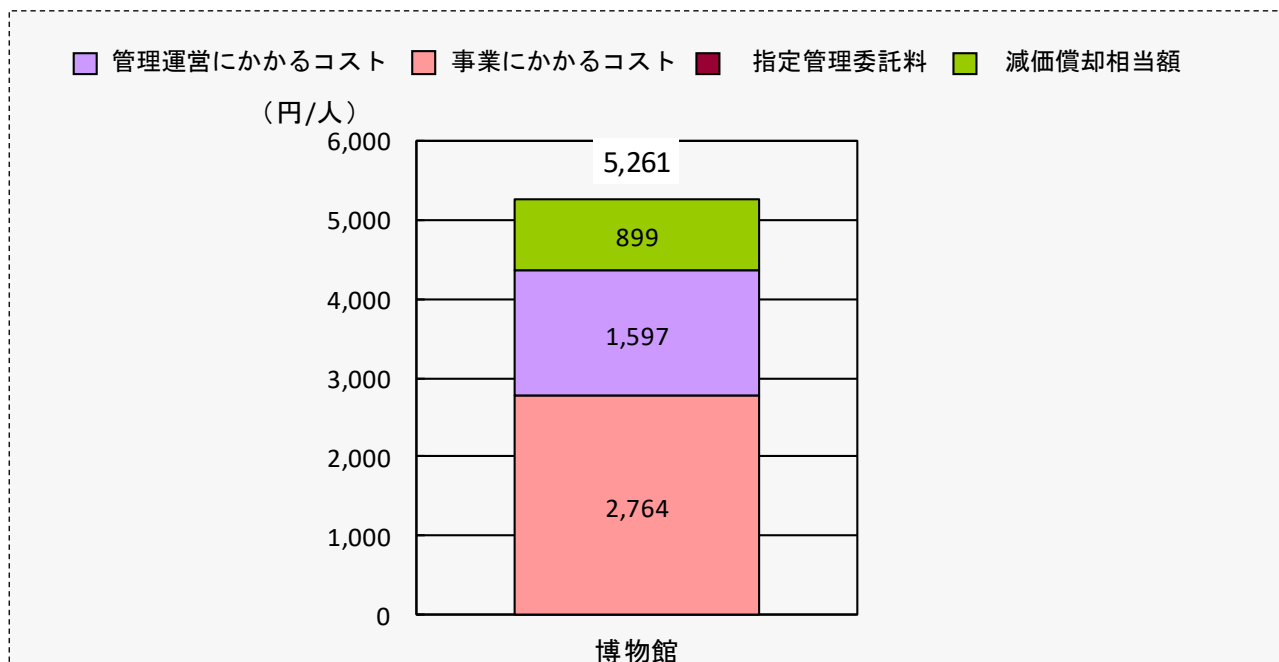
年間利用者数とトータルコストから、利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、8,420 円/人となっています。

平成 24（2012）年度と比較すると、利用者 1 人当たりにかかるコストは増加しています。

図表 利用者 1 人当たりのコスト（令和 4（2022）年度）



【参考】利用者 1 人当たりのコスト（前回白書【平成 24（2012）年度】）



■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① 利用件数及び利用者数の推移をみると、平成 24（2012）年度と比較して、令和 4（2022）年度は減少傾向になっています。利用 1 件当たり利用者数は、平成 24（2012）年度が 53.7 人/件に対し、令和 4（2022）年度が 46.1 人/件となっています。

《部屋別の利用実態》

- ② 全体の稼働率は 38%と、平成 24（2012）年度と比べ、7 ポイント減少しています。
- ③ 部屋別の稼働率をみると、平成 24（2012）年度と比べ、体験学習室を除いて減少しています。特に市民ギャラリー36 はポイントと大きく減少しています。

<コスト状況>

- ④ 博物館の管理運営は、平成 30（2018）年度より、指定管理者が行っており、博物館のトータルコストは 2 億 9,617 万円のうち、41%が指定管理委託料となっています。
- ⑤ 利用 1 件当たりのコストの詳細をみると、平成 24（2012）年度と比較して、管理運営にかかるコスト、事業にかかるコストは減少しています。

4) 課題の明確化

- 利用者の更なる拡大のために、市民ニーズに合った事業運営について改めて検討する必要があります。
- 博物館としての機能やサービスのあり方を検討する必要があります。

(7) 屋内スポーツ施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、屋内スポーツ施設を 8 施設保有しています。屋内スポーツ施設の運営管理は、市民体育館、武道場、弓道場は平成 18（2006）年度、地区体育館は平成 28（2016）年度から指定管理者に委託しています。

設置目的：	
市民体育館	スポーツやレクリエーション活動を通じて、市民が健康で文化的な生活を営めるような、明るく豊かで活力に満ちた生きがいのある社会、及び生涯スポーツ社会を実現することを目的とする
地区体育館	身近なスポーツ施設として、市民がスポーツやレクリエーション活動に親しむ機会を増やし、健康な生活を充実させること、スポーツの振興を図ることを目的とする
武道館・弓道場	武道を通じて日本文化、礼儀作法を体験することで、日本の歴史や伝統に触れる機会を提供することを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	保有機能					土地 所有	備考
						体育館	弓道場	武道場	トレー ニング室	ランニン グコース		
豊岡 第一	1 市民体育館	豊岡4-2-1	6,425.33	昭和56	S造	●	●		●	●	市	平成30年度に 耐震工事了
第 豊 三 岡	2 武道館	鍵山3-10-20	3,688.76	平成3	RC造			●	●		市	
	3 弓道場	鍵山3-10-20	362.95	平成4	RC造		●				市	
	4 黒須地区体育館	鍵山3-10-20	1,258.50	平成2	S造	●					市	令和4年度に 改修完了
東金子	5 東金子地区体育館	小谷田371	1,272.50	昭和62	S造	●					賃貸借 (一部)	
宮寺・ 二本木	6 宮寺地区体育館	宮寺567	1,224.17	平成4	S造	●					賃貸借 (一部)	
藤沢 第一	7 藤沢地区体育館	下藤沢988-1	1,276.03	昭和61	S造	●					賃貸借 (一部)	令和4年度に 改修完了
西武	8 西武地区体育館	野田1134-57	1,258.50	昭和63	S造	●					市	令和3年度に 改修完了
合計			16,766.74									

昭和●：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築 30 年以上）を示す（令和 6（2024）年度基準）

出典：「延床面積」 令和 4（2022）年度固定資産台帳

② 事業内容

<市民体育館>

各種室内競技、トレーニング、ランニング等多種多様な競技に使用できます。

<武道館>

第一道場は、柔道や空手、合気道、太極拳、第二道場は、剣道、居合道、なぎなた等に使用できます。

<弓道場>

武道館に併設されており、弓道に使用できます。

<黒須地区体育館>

武道館、弓道場と同じ敷地内に併設されており、1階はバドミントン6面、バレーボール2面、バスケットボール2面、卓球、ミニテニス、インディアカ、体操等の競技、2階はダンス等の競技に使用できます。

<東金子地区体育館>

施設の1階はバドミントン4面、バレーボール2面、バスケットボール2面、ミニテニス、インディアカ、体操等の競技、2階は卓球、ダンス等の競技に使用できます。また屋外にテニスコート(ハードコート1面)が設置されています。

<宮寺地区体育館>

バドミントン6面、バレーボール2面、バスケットボール2面、卓球、ミニテニス、インディアカ、体操等の競技に使用できます。屋外にはテニスコート(人工芝コート1面)及び多目的広場が設置されています。

<藤沢地区体育館>

施設の1階は、バドミントン4面、バレーボール2面、バスケットボール2面、ミニテニス、インディアカ、体操等の競技、2階は卓球、ダンス等の競技に使用できます。また屋外には、テニスコート(クレートコート2面)とグラウンドが設置されています。

<西武地区体育館>

施設の1階は、バドミントン6面、バレーボール2面、バスケットボール2面、卓球、ミニテニス、インディアカ、体操等の競技、2階はダンス等の競技に使用できます。また屋外には、多目的広場が設置されています。

③ 開館時間・開館日数

施設名	開館時間	休館日	開館日数
市民体育館	午前 9 時～午後 9 時 30 分	年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)	351 日
武道館	午前 9 時～午後 9 時 30 分		351 日
弓道場			351 日
黒須地区体育館	午前 9 時～午後 9 時 30 分		150 日
東金子地区体育館	午前 9 時～午後 9 時 30 分(体育館) 午前 9 時～午後 4 時 30 分 (テニスコート)		357 日
宮寺地区体育館	午前 9 時～午後 9 時 30 分(体育館) 午前 9 時～午後 4 時 30 分 (テニスコート、多目的広場)		357 日
藤沢地区体育館	午前 9 時～午後 9 時 30 分(体育館) 午前 9 時～午後 4 時 30 分 (テニスコート、グラウンド)		200 日
西武地区体育館	午前 9 時～午後 9 時 30 分(体育館) 午前 9 時～午後 4 時 30 分 (多目的広場)		356 日

※開館日数は入間市施設カルテ令和4(2022)年度の利用関連情報

※黒須地区体育館は、令和4(2022)年7月～令和5(2023)年2月まで、藤沢地区体育館は、令和3(2021)年12月～令和4(2022)年8月まで改修工事を行っていました。

④ 予約方法

市民体育館	公共施設予約サービスのホームページより空き状況を照会し、申し込みをします。キャンセルは、予約日の1週間前までとなります。 利用前に、窓口でご利用料金の支払いと、許可書の交付を受けます。
武道館	公共施設予約サービスのホームページより空き状況を照会し、申し込みをします。キャンセルは、予約日の1週間前までとなります。 利用前に、窓口でご利用料金の支払いと、許可書の交付を受けます。
地区体育館	使用しようとする日の属する月の初日から起算して3日前から各地区体育館で予約が行えます。

■ 使用料金

<市民体育館>

○アリーナ

【団体利用】

体育館		午前 9:00~12:00	午後 1:00~5:00	午後 6:00~9:30
一般/ 学生	1/4面 ・バドミントン ・バレーボール 他	1,000円	1,500円	2,000円
	1/2面 ・テニス ・バスケットボール 他	2,000円	3,000円	4,000円
児童/ 生徒	1/4面 ・バドミントン ・バレーボール 他	500円	750円	1,000円
	1/2面 ・テニス ・バスケットボール 他	1,000円	1,500円	2,000円

【個人利用（2時間単位）】

一般/ 学生	1人 200円
児童/ 生徒	1人 100円

○多目的室

【団体利用】

	午前 9:00~12:00	午後 1:00~5:00	午後 6:00~9:30
一般/ 学生	1,000円	1,500円	2,000円
児童/ 生徒	500円	750円	1,000円

【個人利用（2時間単位）】

一般/ 学生	1人 200円
児童/ 生徒	1人 100円

(7) 屋内スポーツ施設

○卓球室・ランニングコース・弓道場

【個人利用（2時間単位）】

一般／学生	1人 200円
児童／生徒	1人 100円

○トレーニング室

一般／学生	1人 300円 (機器使用料100円を含む)
15歳以上 (中学生除く)☒	1人 200円 (機器使用料100円を含む)

○会議室・役員室

1時間	200円
-----	------

<武道館>

○武道場

【団体利用】

	1/3面	午前 9:00~12:00	午後 1:00~5:00	午後 6:00~9:30
一般／学生	第一道場	1,200円	1,600円	2,000円
	第二道場	1,500円	2,000円	2,500円
児童／生徒	第一道場	600円	800円	1,000円
	第二道場	750円	1,000円	1,250円

【個人利用（2時間単位）】

一般／学生	第1・2道場	1人 200円
児童／生徒	第1・2道場	1人 100円

○トレーニング室

【個人利用（2時間単位）】

一般／学生	1人 200円
児童／生徒	1人 100円

○会議室

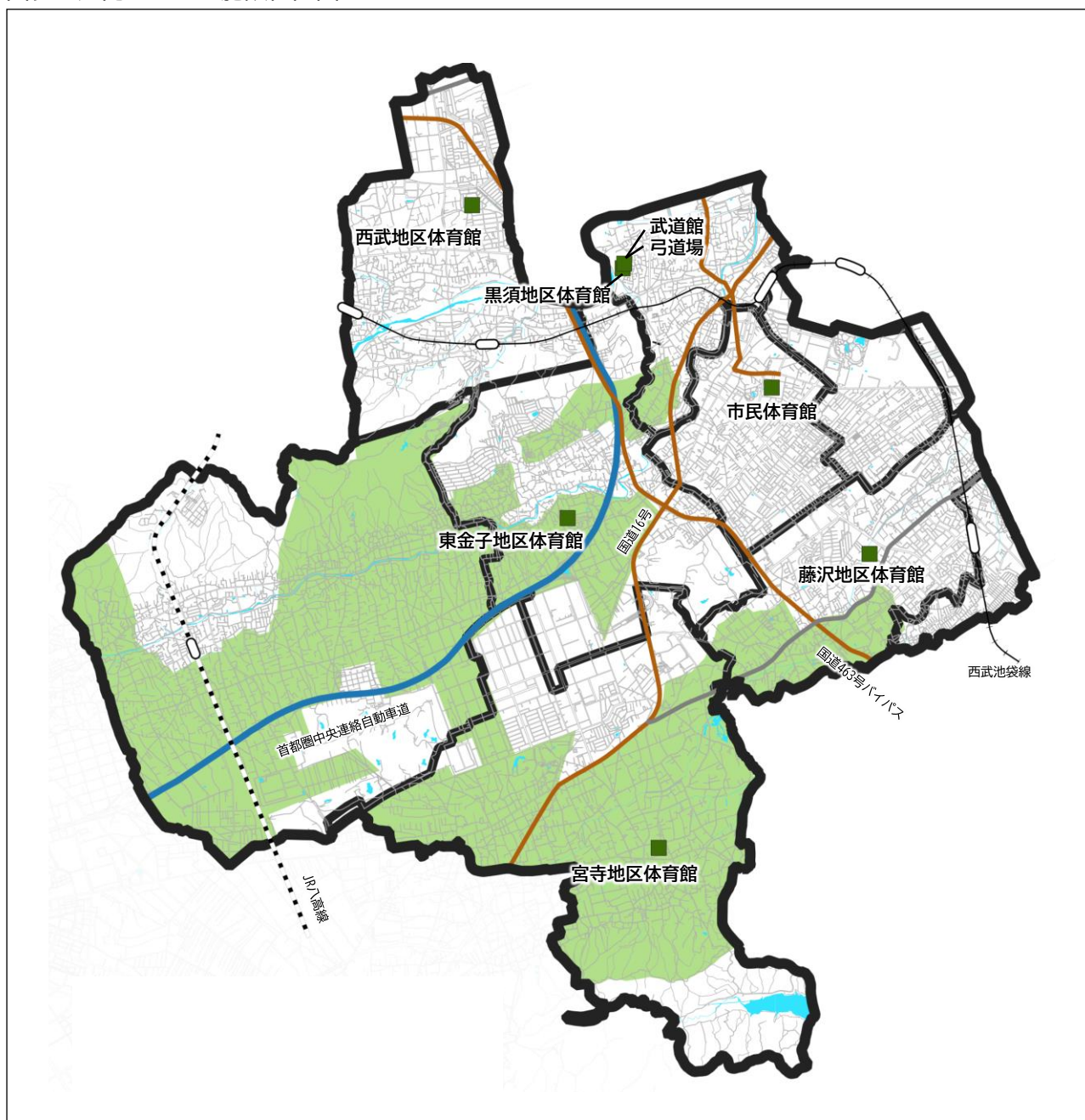
	1時間
会議室(第1・第2)	200円
役員室	100円

<地区体育館>

使用料は無料です。

⑤ 配置状況

図表 屋内スポーツ施設位置図

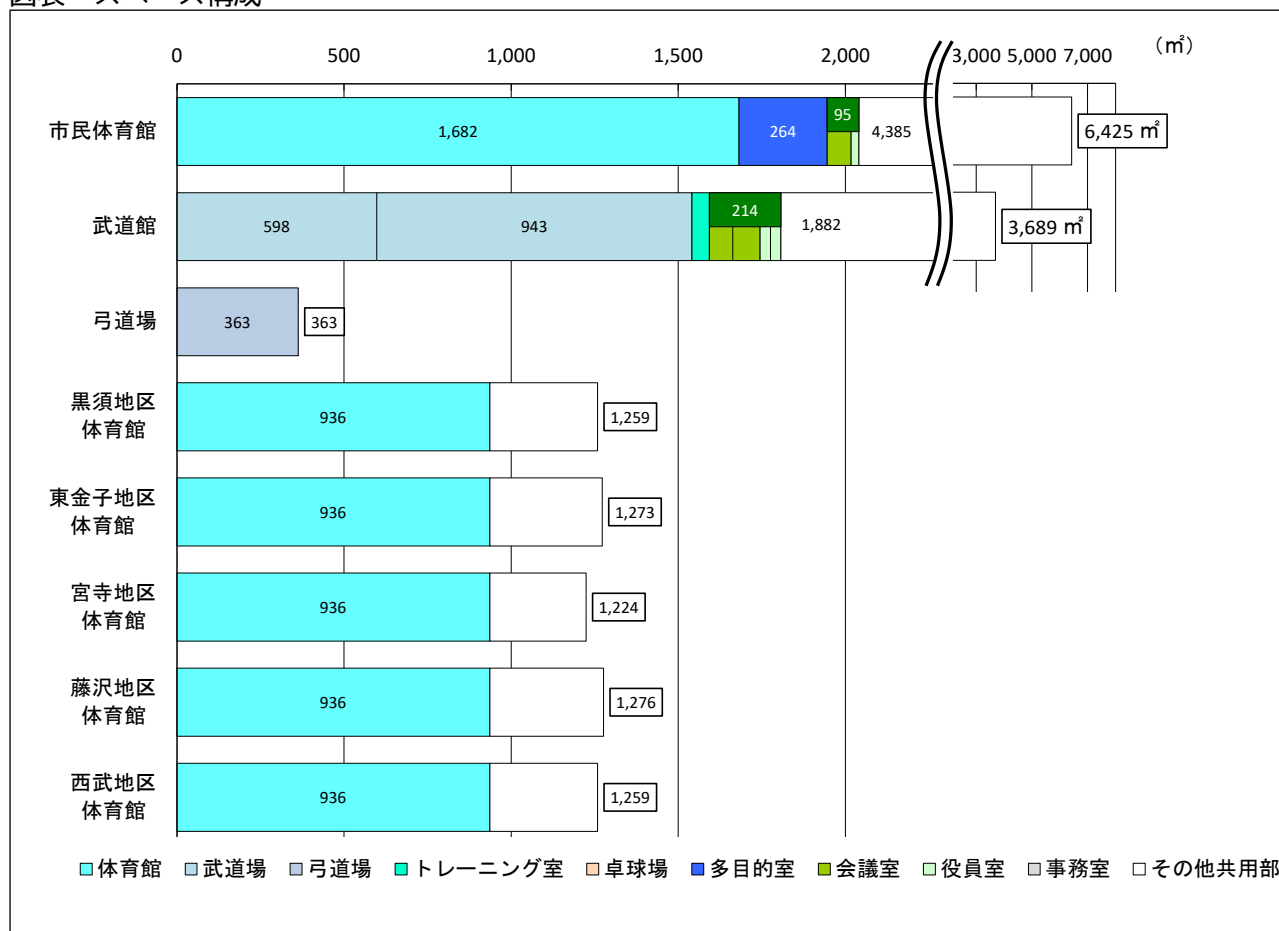


⑥ スペース構成

屋内スポーツ施設の規模は、弓道場の 363 m²から市民体育館の 6,425 m²となっています。市民体育館と武道館は、トレーニング室、会議室、大会実行委員等が利用する役員室を保有しています。市民体育館は、アリーナの他に、卓球室や多目的室を保有しています。また、施設外にテニスコート（6 面）、プール（50m・児童用）や陸上競技場（200mトラック）兼ソフトボール場（2 面）を併設しています。

地区体育館は、5 館全ての館が約 900 m²のアリーナを持ち、施設の規模も約 1,200 m²となっています。

図表 スペース構成



2) 実態把握

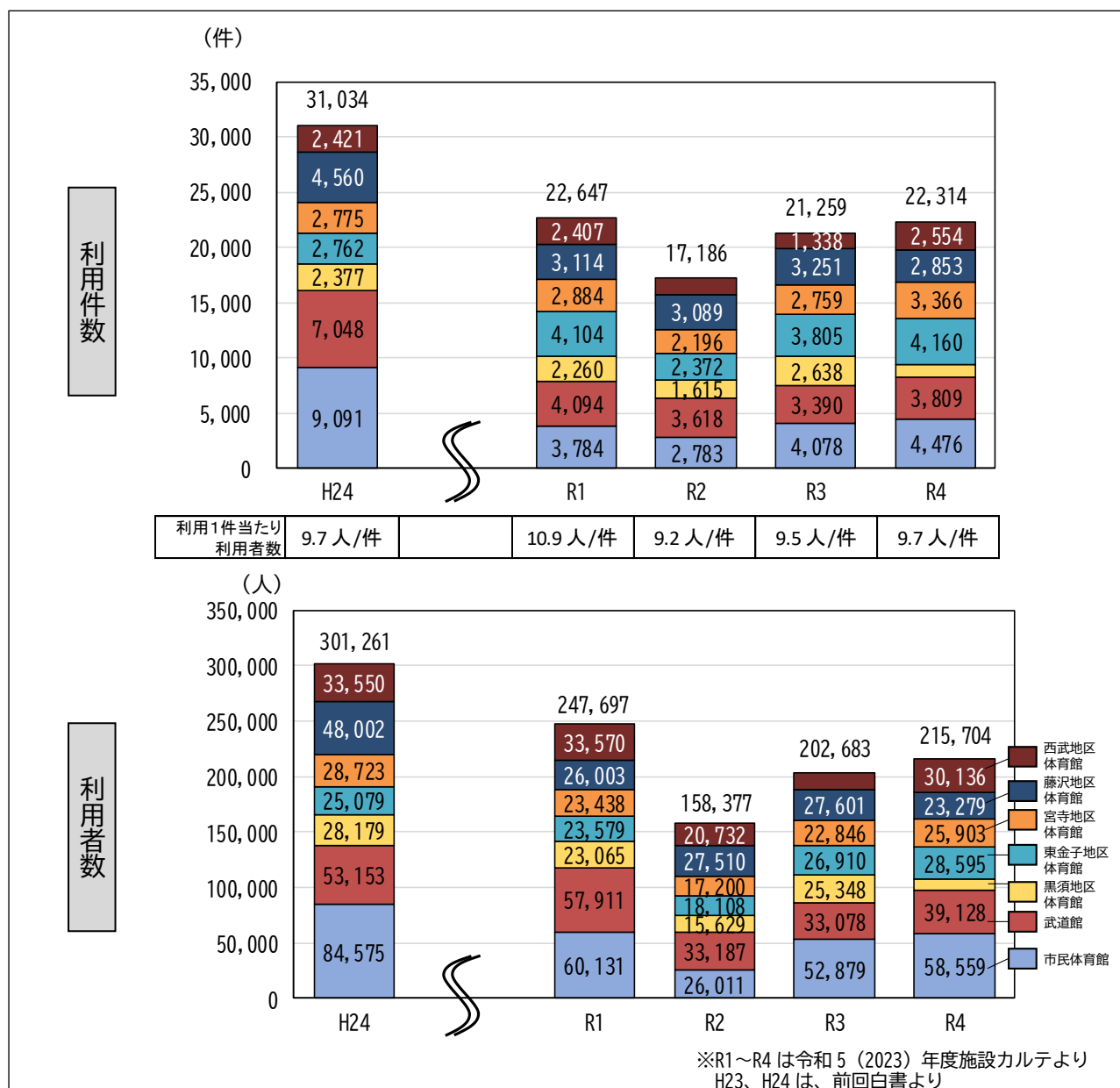
① 利用状況

■ 全体の利用状況

屋内スポーツ施設の利用件数の推移は、平成 24（2012）年度は 3 万 1,034 件でしたが、令和元（2019）年度で 2 万 2,647 件に減少、令和 2（2020）年度で 1 万 7,186 件とさらに落ち込みました。令和 3（2021）年度以降増加に転じ、令和 4（2022）年度は 2 万 2,314 件と令和元（2019）年度と同程度に回復しています。利用者数の推移も同様に、平成 24（2012）年度は 30 万 1,261 人でしたが、令和元（2019）年度で 24 万 7,697 人に減少、令和 2（2020）年度で 15 万 8,377 人とさらに落ち込みました。令和 3（2021）年度以降増加に転じ、令和 4（2022）年度は 21 万 5,704 人となっています。

利用 1 件当たりの利用者数は、平成 24（2012）年度の 9.7 人/件から、令和元（2019）年度に 10.9 人/件と増加しましたが、令和 4（2022）年度は 9.7 人/件となっています。

図表 利用件数及び利用者数の推移



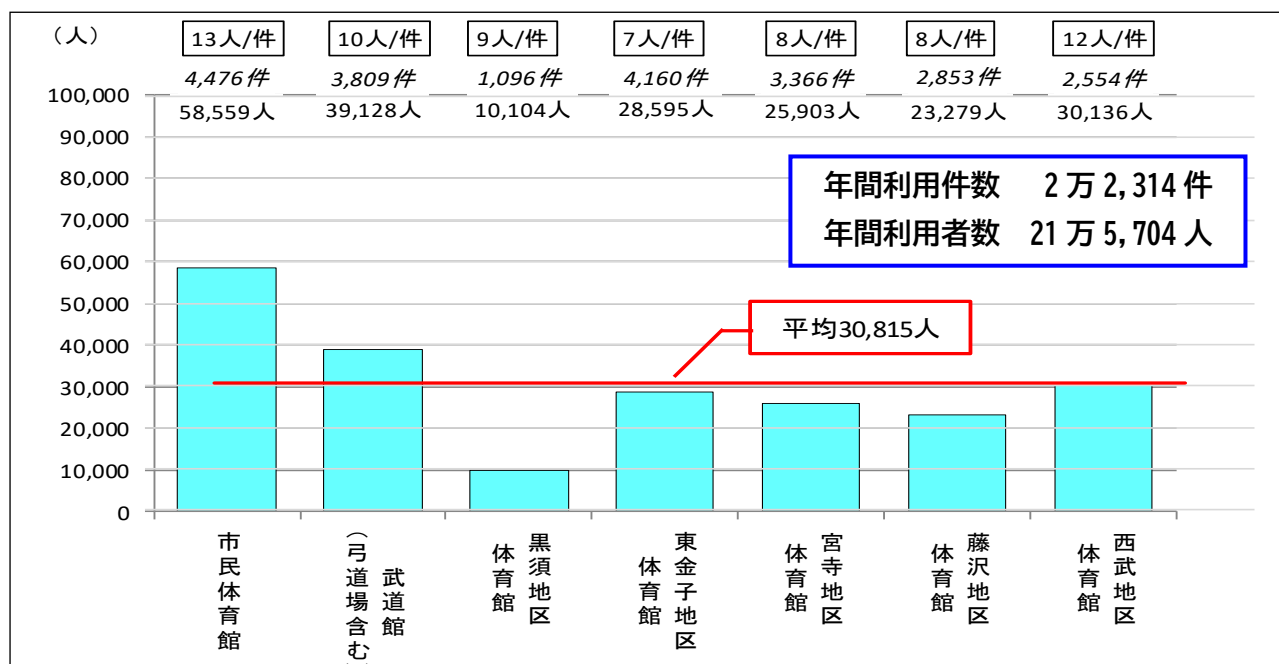
※令和 2（2020）年度の利用関連情報は、新型コロナウイルスの影響を受けています。

■ 施設別の利用状況

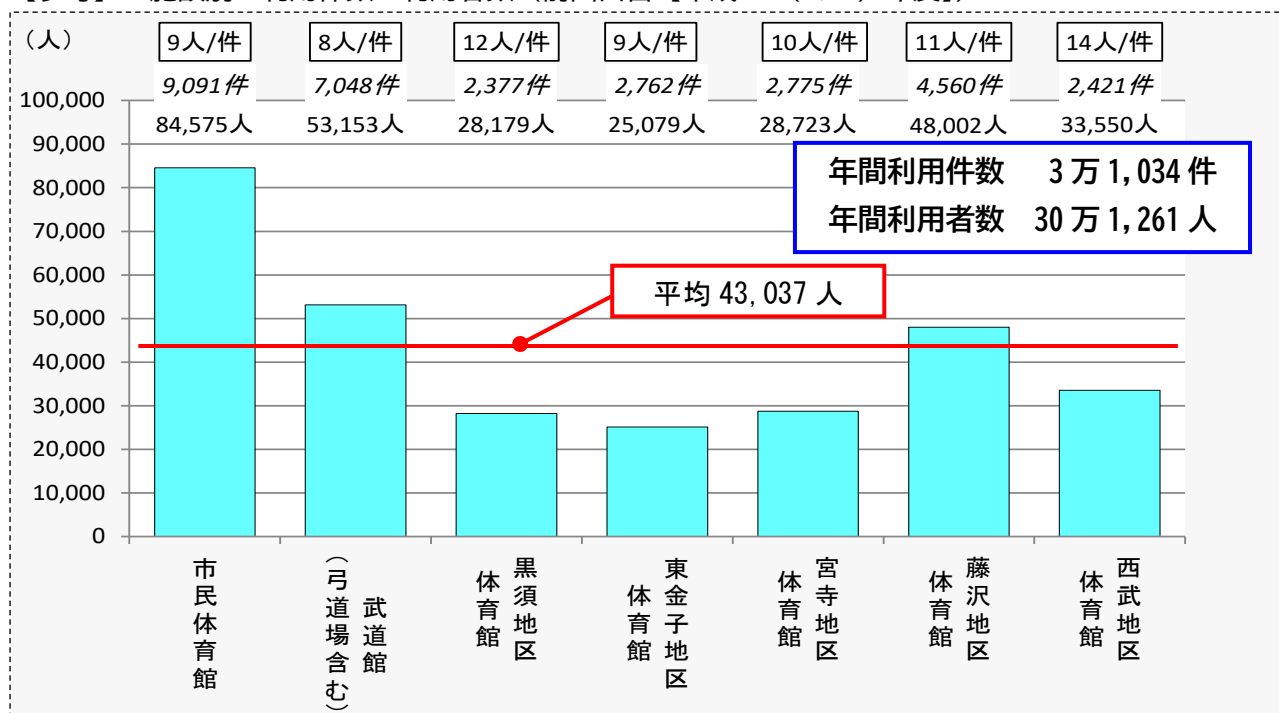
令和4（2022）年度の施設別利用件数と利用者数をみると、市民体育館が4,476件・5万8,559人と利用件数・利用者数ともに最も多く、次点として利用件数は東金子地区体育館、利用者数は武道館となっています。

地区体育館5施設でみた場合、利用件数は東金子地区体育館の4,160件が、利用者数は西武地区体育館の3万136人が最も多い状況です。また、東金子地区体育館は年間利用件数と年間利用者数がともに平成24（2012）年度よりも増加しています。黒須地区と藤沢地区は、改修工事に伴う閉館が影響したため、利用件数と利用者数が減少しています。

図表 施設別 利用件数・利用者数（令和4（2022）年度）



【参考】 施設別 利用件数・利用者数（前回白書【平成24（2012）年度】）



② コスト情報

屋内スポーツ施設の7施設の年間トータルコストは、2億1,745万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは1,741万円(8%)、指定管理委託料は1億6,189万円(74%)、減価償却相当額は3,816万円(18%)です。

図表 施設別行政コスト計算書(令和4(2022)年度)

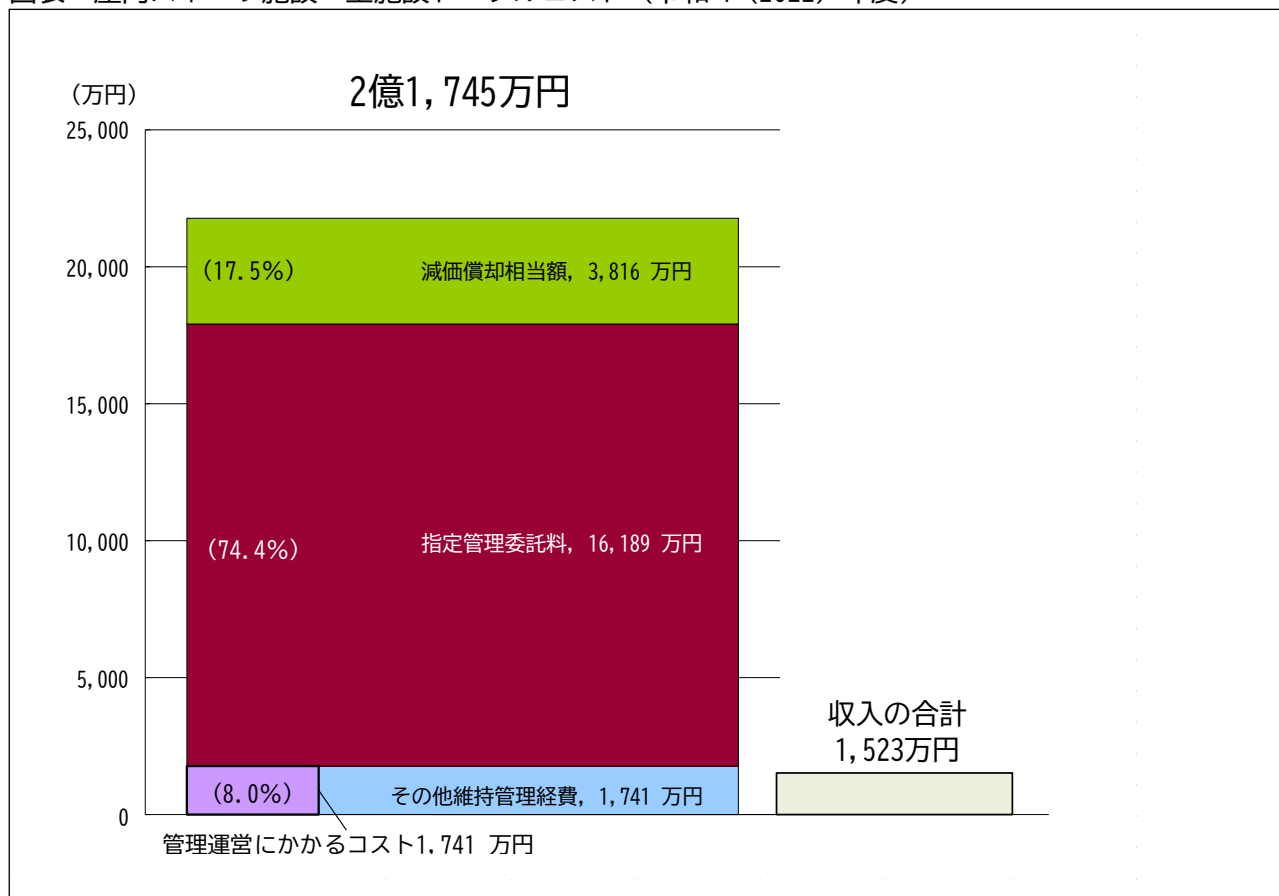
(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		市民体育館	武道館	黒須地区体育館	東金子地区体育館	宮寺地区体育館	藤沢地区体育館	西武地区体育館	合計
コスト かかる 管理 運営に 関する	委託費	0	0	4,470,000	180,000	180,000	4,470,000	180,000	9,480,000
	使用料及び賃借料	1,085,760	0	0	326,471	206,210	6,307,020	0	7,925,461
	管理運営にかかるコスト	1,085,760	0	4,470,000	506,471	386,210	10,777,020	180,000	17,405,461
指定管理委託料		84,750,673	37,195,498	6,988,285	7,926,745	7,770,984	10,244,389	7,014,468	161,891,042
現金収支を伴うコスト 計		85,836,433	37,195,498	11,458,285	8,433,216	8,157,194	21,021,409	7,194,468	179,296,503
【収入の部】									
収入 使用料収入		9,301,350	4,751,384	19,025	104,109	291,104	524,111	242,548	15,233,631
収入の合計		9,301,350	4,751,384	19,025	104,109	291,104	524,111	242,548	15,233,631
II. 現金収支を伴わないもの									
コスト 減価償却相当額		0	20,791,060	6,383,790	0	9,073,020	0	1,909,789	38,157,659
III. 総括									
コストの部合計(トータルコスト)		85,836,433	57,986,558	17,842,075	8,433,216	17,230,214	21,021,409	9,104,257	217,454,162

※武道館・弓道場のコストの一部は市民体育館に含んでいます。

※黒須地区、藤沢地区の体育館改修工事費はコストから除いています。

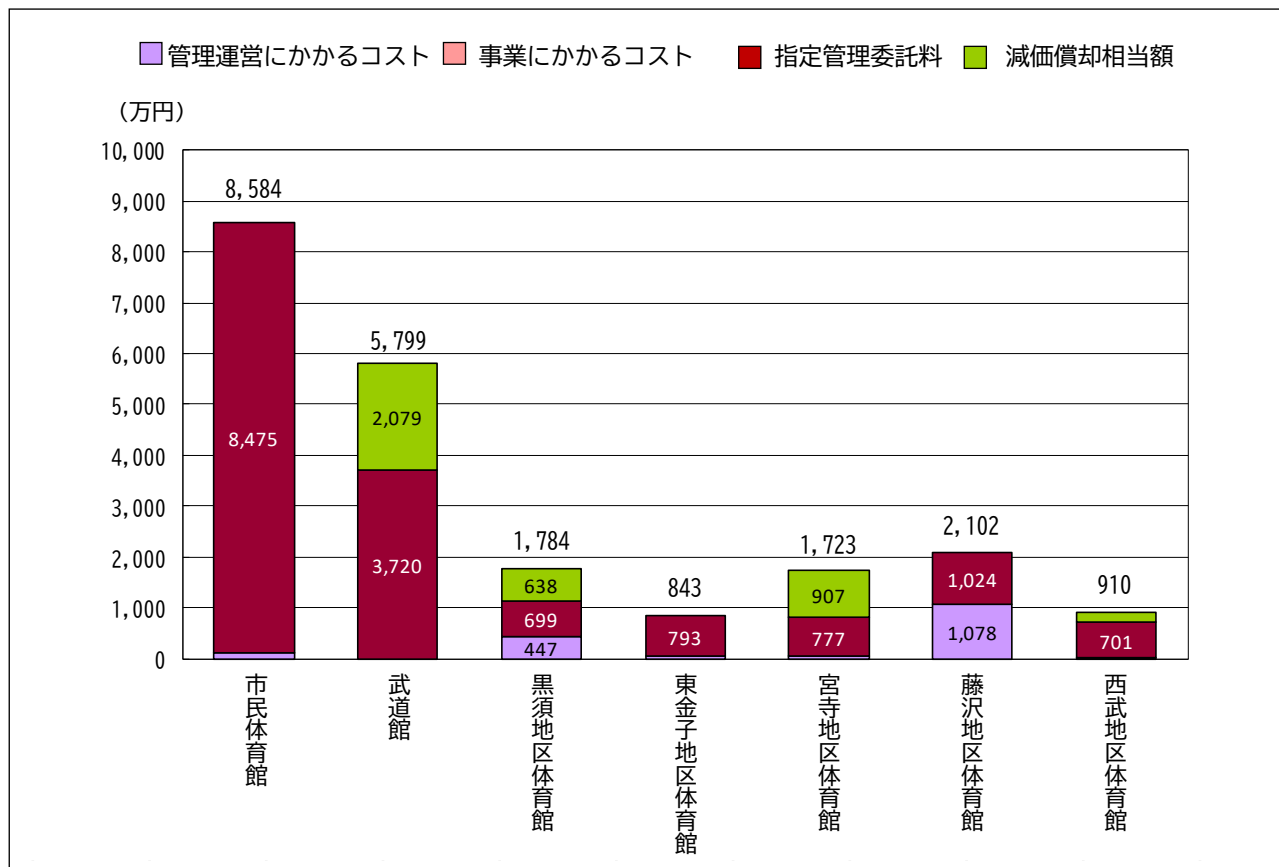
図表 屋内スポーツ施設 全施設トータルコスト(令和4(2022)年度)



(7) 屋内スポーツ施設

施設別トータルコストは、市民体育館が8,584万円、武道館が5,799万円、地区体育館が東金子地区体育館の843万円から藤沢地区体育館の2,102万円となっています。

図表 屋内スポーツ施設 施設別トータルコスト（令和4（2022）年度）



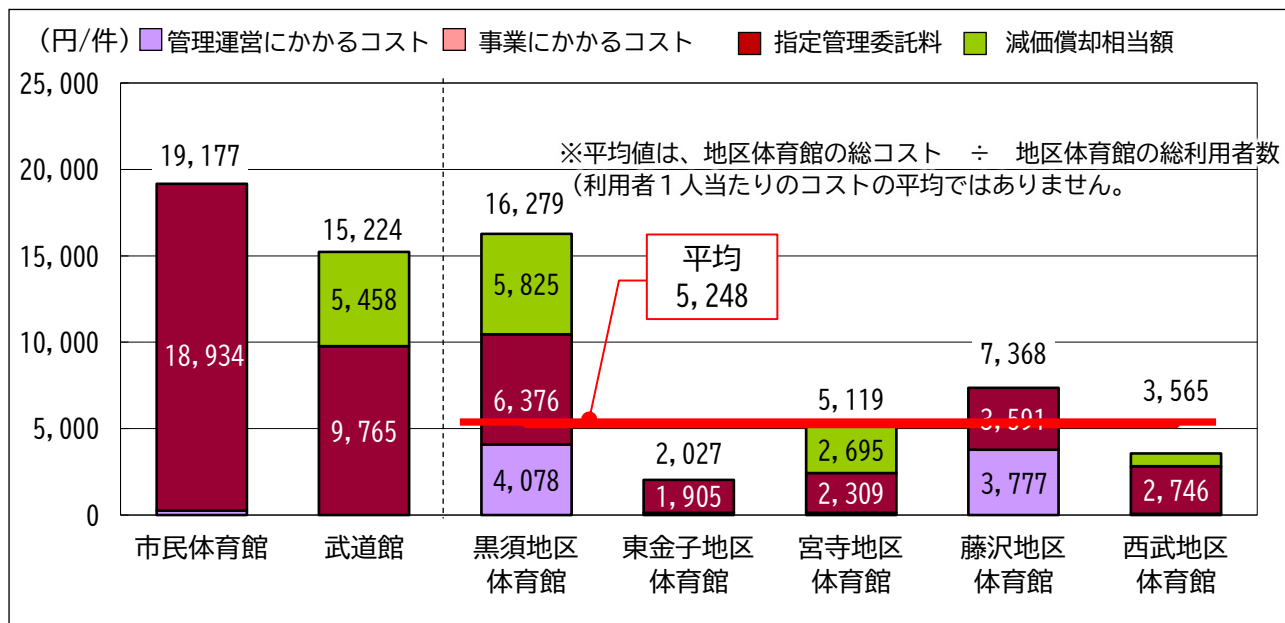
3) 分析

■ 利用 1 件当たりのコスト

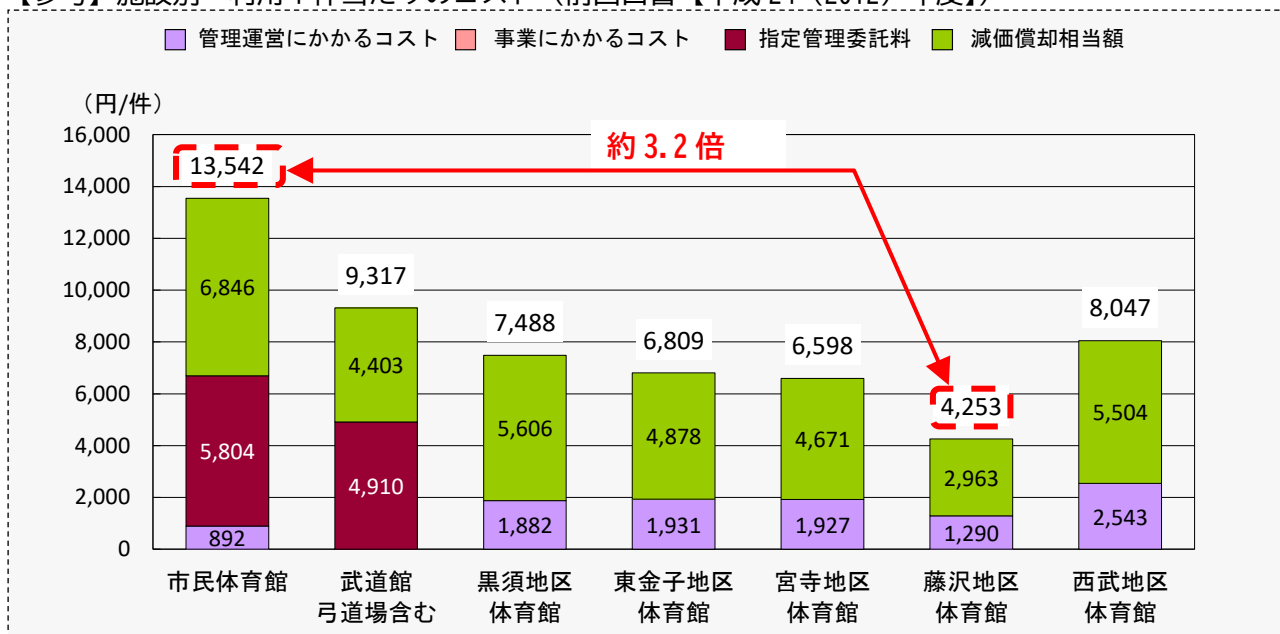
年間利用件数とトータルコストから、利用 1 件当たりにかかるコストを算出すると、東金子地区体育館の 2,027 円/件から市民体育館の 1 万 9,177 円/件となっています。地区体育館に着目すると、黒須地区体育館のコストの高さが目立ちますが、黒須地区体育館は改修工事に伴い、開館日数が宮寺地区体育館の 4 割程度の稼働日であったことが、コストの増加につながったと考えられます。

市民体育館、武道館、黒須地区体育館、藤沢地区体育館は平成 24（2012）年度からコストが増加しています。

図表 施設別 利用 1 件当たりのコスト（令和 4（2022）年度）



【参考】施設別 利用 1 件当たりのコスト（前回白書【平成 24（2012）年度】）

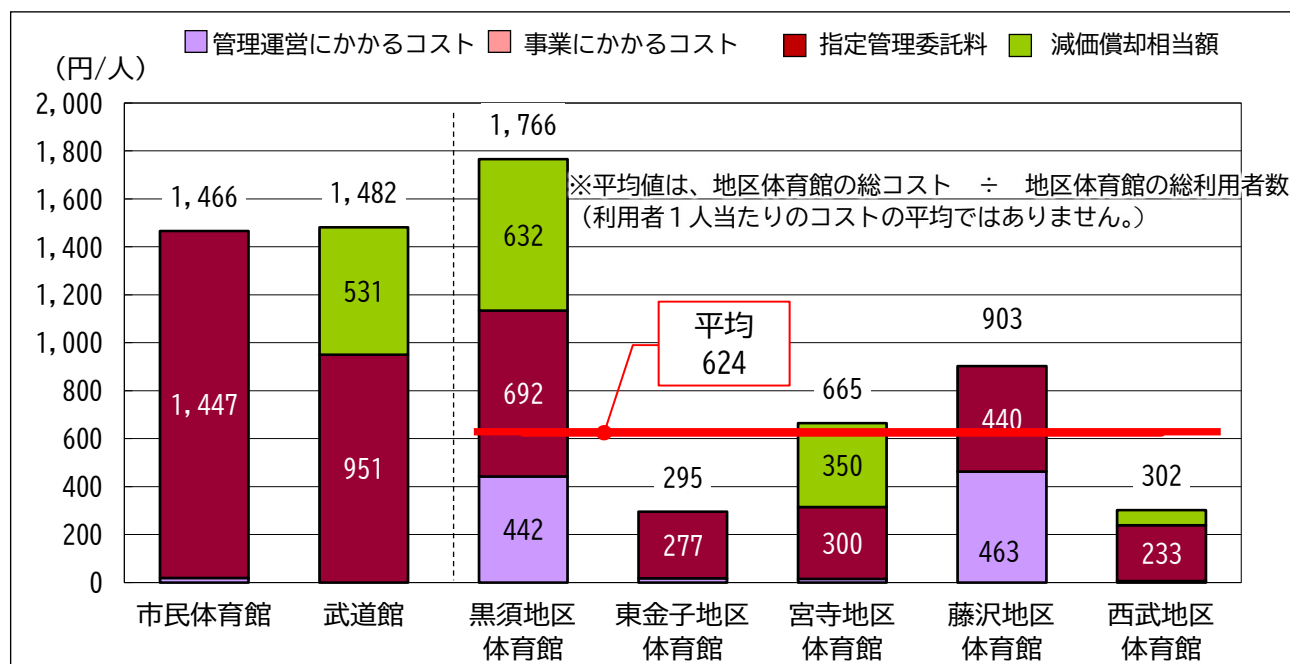


■ 利用者 1 人当たりのコスト

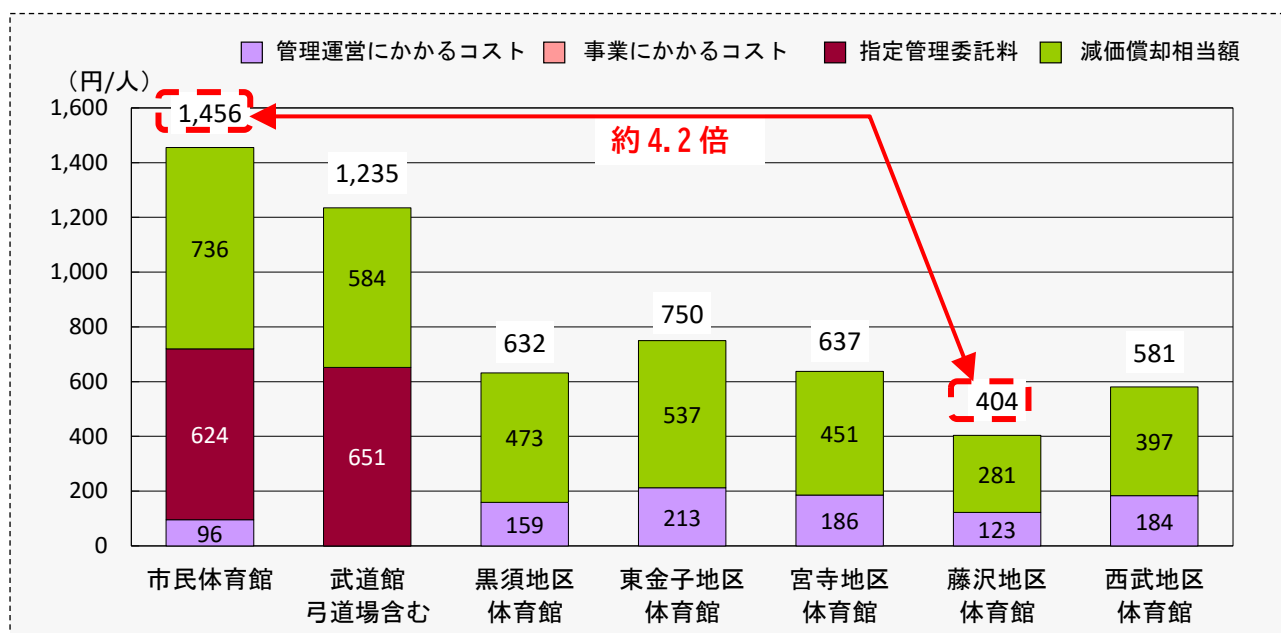
年間利用者数とトータルコストから、利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、東金子地区体育館の 295 円/人から黒須地区体育館の 1,766 円/人となっています。地区体育館に着目すると、黒須地区体育館のコストの高さが目立ちますが、黒須地区体育館は改修工事に伴い、開館日数が宮寺地区体育館の 4 割程度の稼働日であったことが、コストの増加につながったと考えられます。

市民体育館、武道館、黒須地区体育館、宮寺地区体育館、藤沢地区体育館は平成 24（2012）年度からコストが増加しています。

図表 施設別 利用者 1 人当たりのコスト（令和 4（2022）年度）



【参考】 施設別 利用者 1 人当たりのコスト（前回白書【平成 24（2012）年度】）



■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① 利用件数及び利用者数の推移をみると、平成 24（2012）年度と比較して、令和 4（2022）年度は減少傾向になっています。ただし、利用 1 件当たりの利用者数は 9.7 人/件となり、平成 24（2012）年度と同水準となっています。
- ② 施設別の利用状況では、東金子地区体育館は年間利用件数と年間利用者数がともに平成 24（2012）年度よりも増加しています。

<コスト状況>

- ③ 屋内スポーツ施設の管理運営は、指定管理者が行っており、トータルコストのうち 74% が指定管理委託料となっています。
- ④ 黒須地区体育館は改修工事に伴い、開館日数が宮寺地区体育館の 4 割程度の稼働日だったことから、コストが増加しています。

4) 課題の明確化

- 市民体育館は、スポーツの活動拠点やスポーツ大会の会場としての役割に加えて、避難所や選挙の開票場など大空間を活かした様々な使用を検討する必要があります。
- 武道館は、利便性の高い体育施設への複合化や近隣市との役割分担について検討する必要があります。
- 地区体育館は、小中学校の体育館の活用を含めて、今後の方向性を検討する必要があります。

(8) 農村環境改善センター

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、農業者の育成と、農業振興と市民のコミュニケーションの場として保養系施設を1施設保有しています。農村環境改善センターの管理運営は、指定管理者に委託しています。

設置目的：農業経営の合理化及び農村地域住民の福祉の向上を図るとともに、農業の健全な発展を図ることを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	土地 所有	備考
金子	1 農村環境改善センター	下谷ヶ貫915-3	1,402.43	昭和61	RC造	市	令和4年度に改修完了

昭和●：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す（令和6（2024）年度基準）

出典：「延床面積」 令和4（2022）年度固定資産台帳

② 事業内容

大小の会議室・研修室・多目的ホール（屋内運動場）・テニスコートを設置し、施設の提供を行っています。

③ 開館時間・開館日数

開館時間	休館日	開館日数
午前9時～ 午後9時30分	年末年始 (12月29日～1月3日)	178日

※開館日数は入間市施設カルテ令和4（2022）年度の利用関連情報

※令和4（2022）年度は、改修工事のため使用できない期間がありました。

④ 予約方法

あらかじめ使用許可申請手続きが必要です。使用する日の2ヵ月前の1日（テニスコートは2ヵ月前の21日）から利用日までに受付を行い、申請書を農村環境改善センター窓口に出します。また、その他に電話受付とインターネット受付が可能です。

※テニスコートは、公共施設湯約サービスシステムに利用登録をすることで、使用予定月の2ヵ月前の1日から10日までの抽選形式による受付が可能です。

■ 使用料金

原則として有料です。

登録している農業団体等、利用の目的・利用団体等によっては使用料の減免制度があります。

団体

(単位 円)

時間区分	午前	午後	夜間	全日
使用区分	午前9時～ 午前12時	午後1時～ 午後5時	午後5時30分 ～午後9時30分	午前9時 ～午後9時30分
多目的ホール	1,000	1,500	2,000	4,000
調理実習室	700	800	1,000	2,200
研修室	400	500	600	1,300
視聴覚室	500	600	700	1,600
和室会議室・大	500	600	700	1,600
和室会議室・小	300	400	500	1,000
洋室会議室・大	500	600	700	1,600
洋室会議室・小	400	500	600	1,300

多目的ホール(個人)

(単位 円)

時間区分	使用料	
使用者1人2時間につき	一般・学生	児童・生徒
	100	50

テニスコートの使用料(1面2時間)

(単位 円)

	使用料
テニスコート	一般・学生
	児童・生徒
	500
	250

※入間市内在住、在勤、在学以外の方は市外扱いとなり、規定使用料に100分の50を加算します(【例】使用料1,000円の場合、市外料金は1,500円)。ただし、所沢市・飯能市・狭山市・日高に在住、在勤、在学の方はダイアプランにより市内扱いとなります。

⑤ 配置状況

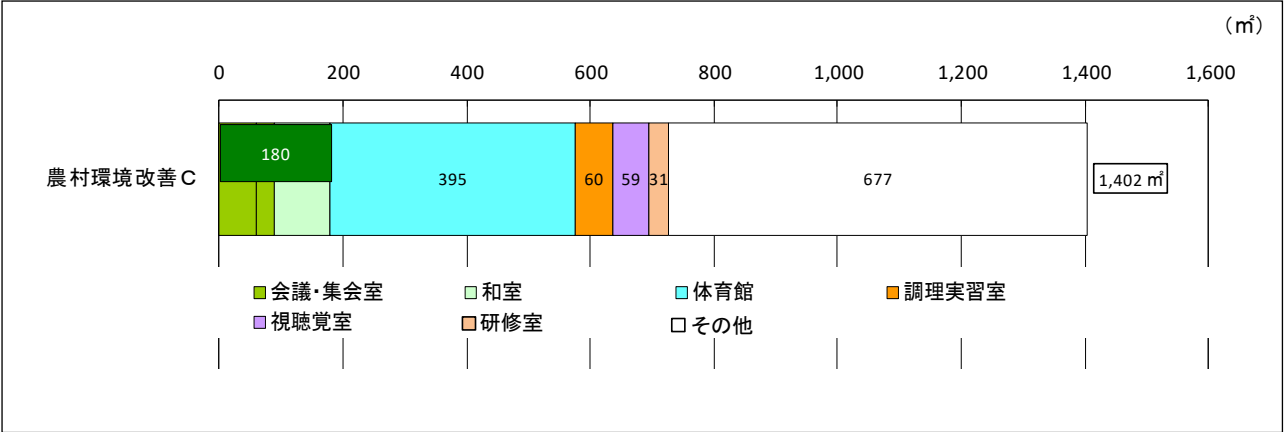
図表 農村環境改善センター位置図



⑥ スペース構成

農村環境改善センターは1,402 m²となっています。主な保有スペースは、体育館（多目的ホール）、会議・集会機能として洋室会議室・和室会議室があり、その他に調理実習室・視聴覚室・図書室・研修室を保有しています。

図表 スペース構成



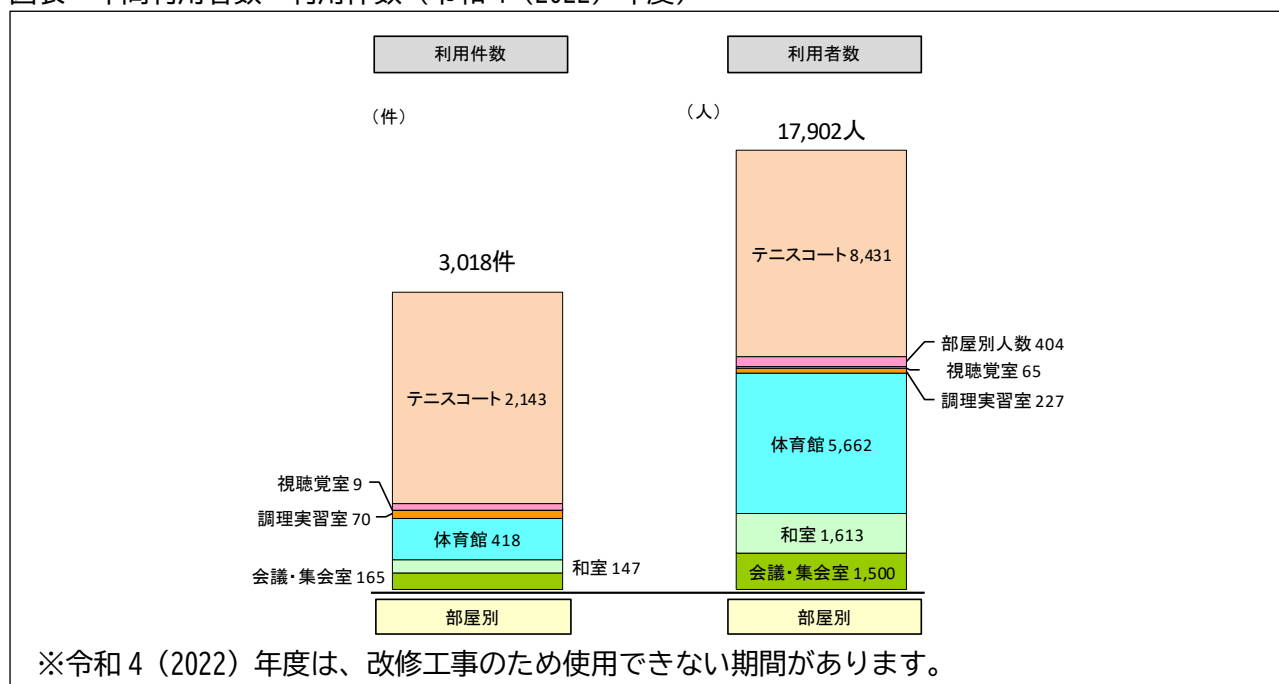
2) 実態把握

① 利用状況

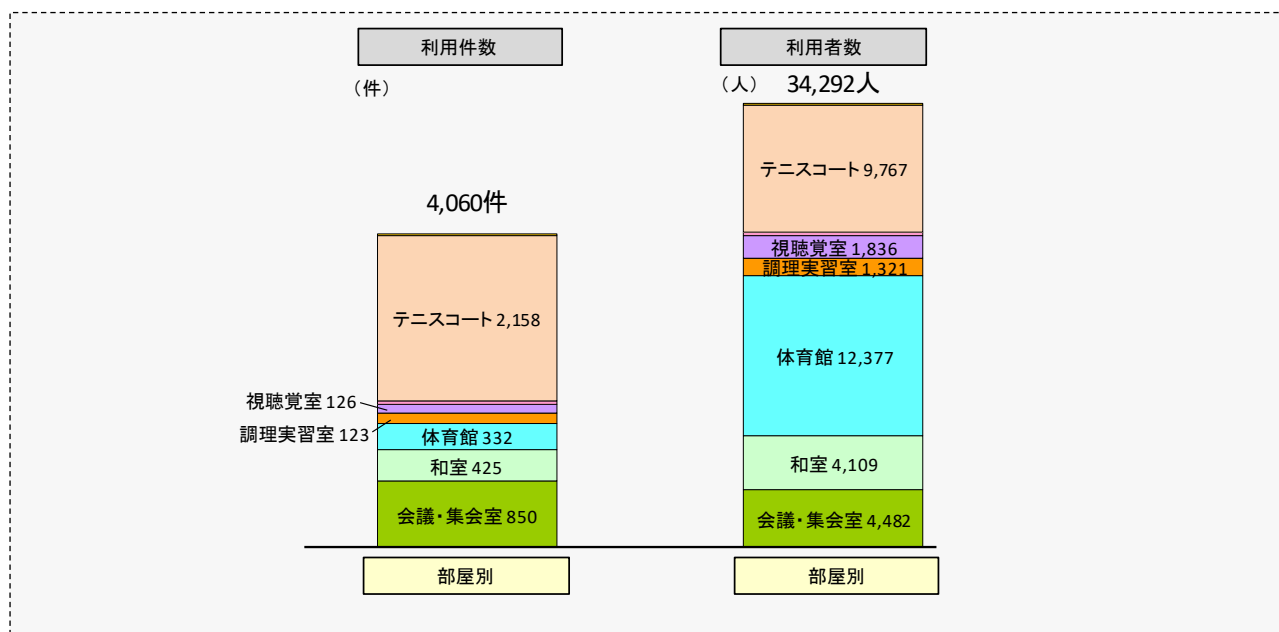
令和4(2022)年度の農村環境改善センターの全体利用件数は3,018件、利用者数は1万7,902人です(令和4(2022)年度は、改修工事のため使用できない期間がありました)。

部屋別の利用状況では、テニスコートが2,143件(約71%)と大半を占めており、平成24(2012)年度から件数は減少しているものの、割合は高くなりました。次いで体育館(多目的ホール)が418件(約14%)で、平成24(2012)年度に2番目に利用件数の多かった会議・集会室は165件(5%)となっています。テニスコートは、市外の近隣自治体からの利用もあります。

図表 年間利用者数・利用件数(令和4(2022)年度)



【参考】 年間利用件数・利用者数(前回白書【平成24(2012)年度】)

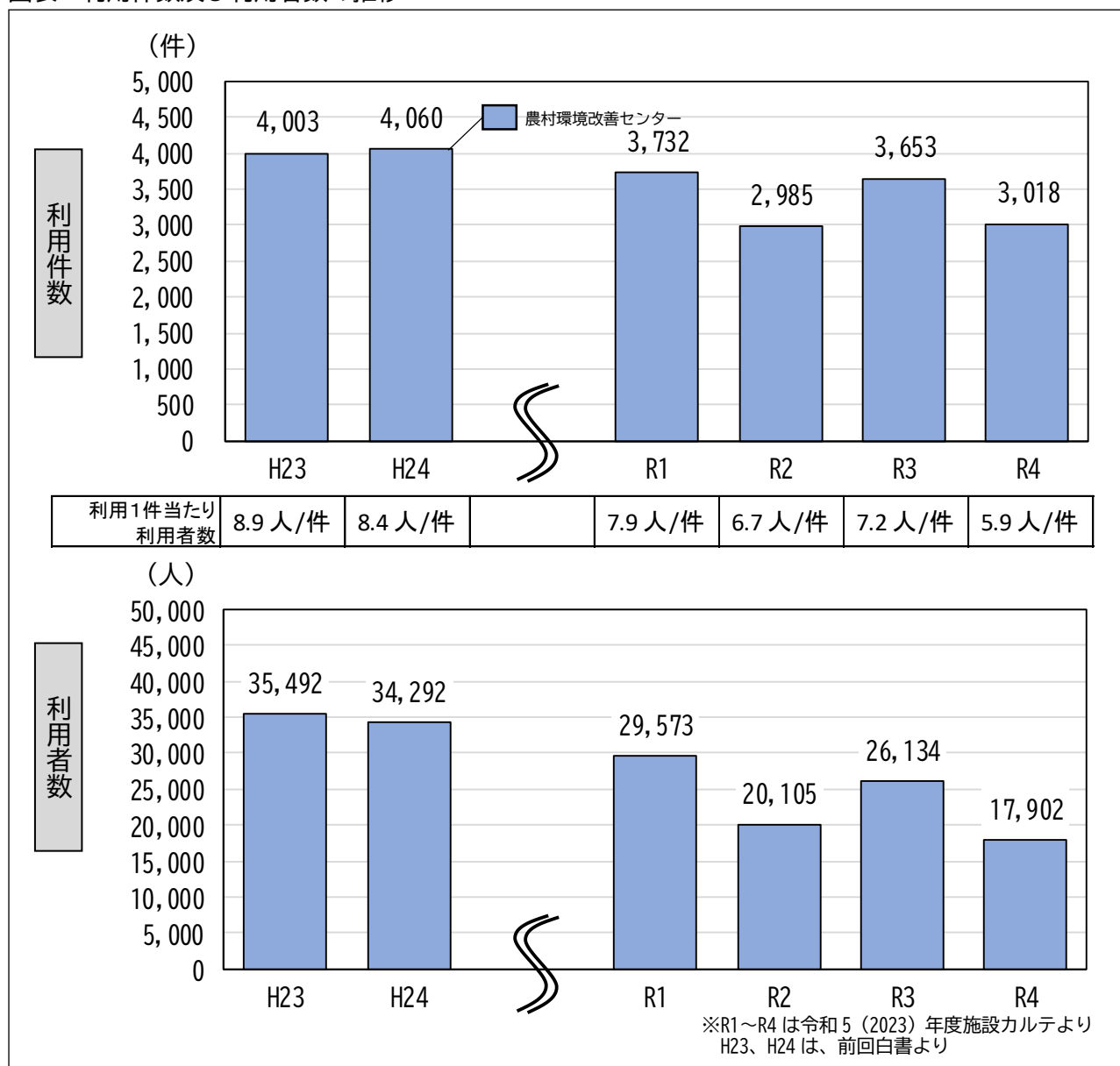


■ 利用推移

農村環境改善センターの利用件数の推移は、平成 24（2012）年度 4,003 件から令和 4（2022）年度 3,018 件、利用者数は、平成 24（2012）年度 3 万 5,492 人から令和 4（2022）年度 1 万 7,902 人といずれも減少傾向となっています。

利用 1 件当たりの利用者数は、平成 23（2011）年度から平成 24（2012）年度は 8～9 人/件でしたが、令和 4（2022）年度は平均 5.9 人/件と減少しています。

図表 利用件数及び利用者数の推移



※令和 4（2022）年度は、改修工事のため使用できない期間がありました。

※令和 2（2020）年度の利用関連情報は、新型コロナウイルスの影響を受けています。

■ 稼働率及び部屋別稼働率

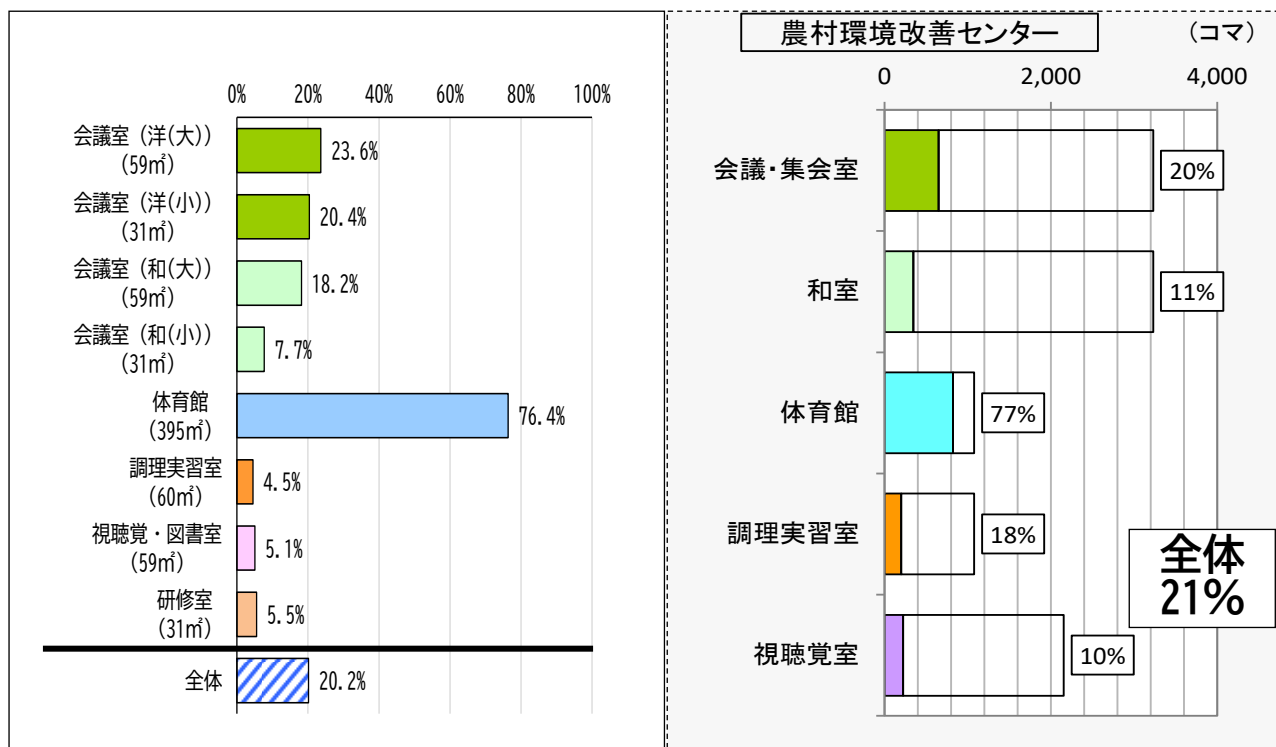
農村環境改善センターの全体稼働率は約 20%です。

部屋別では、会議室は 20%から 24%、和室は 8%から 18%、体育館は 76%、調理実習室は 5%、研修室は 6%の稼働率となっています。

平成 24（2012）年度と比較すると、全体稼働率はほぼ同程度ですが、部屋別ではもともと低かった調理実習室や視聴覚室の稼働率がより減少しています。

図表 部屋別稼働率（令和 4（2022）年度）

【参考】部屋別稼働率（前回白書【平成 24（2012）年度】）



② コスト情報

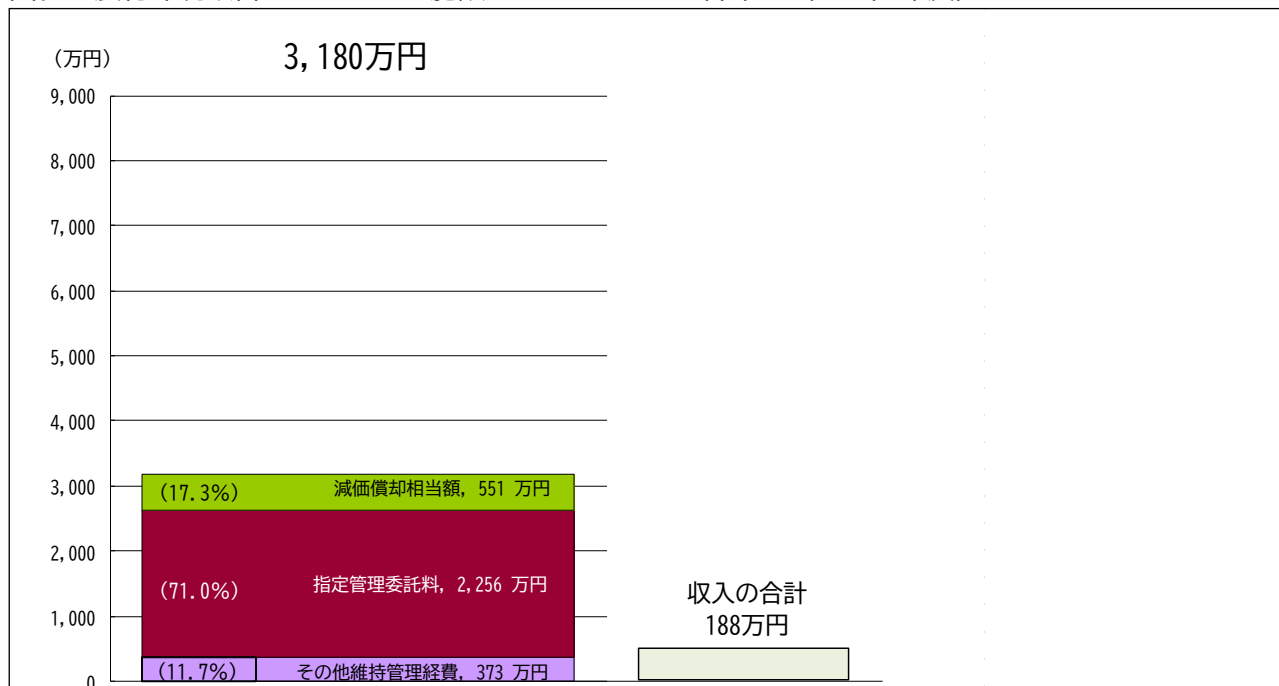
年間トータルコストは、3,180 万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは 373 万円（12%）、施設の維持管理を委託している指定管理委託料は 2,256 万円（71%）、減価償却相当額は 551 万円（17%）です。

図表 施設別行政コスト計算書（令和 4（2022）年度）

		(円)
I.現金収支を伴うもの【コストの部】		農村環境改善センター
に管理運営にかかるコスト	委託費	3,685,000
	その他物件費	42,708
	管理運営にかかるコスト	3,727,708
指定管理委託料		22,563,995
現金収支を伴うコスト 計		26,291,703
【収入の部】		
収入	使用料収入	1,881,665
収入の合計		1,881,665
II.現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	5,507,500
III.総括		
コストの部合計(トータルコスト)		31,799,203

図表 農村環境改善センター 全施設トータルコスト（令和 4（2022）年度）

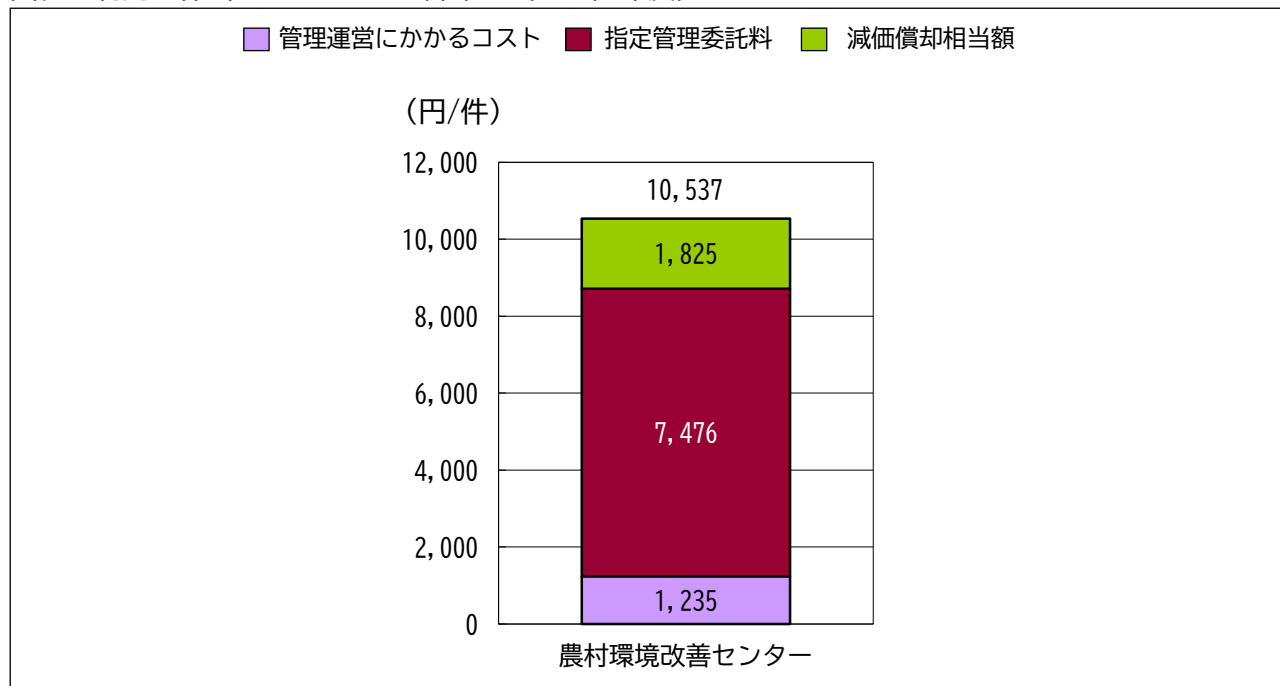


3) 分析

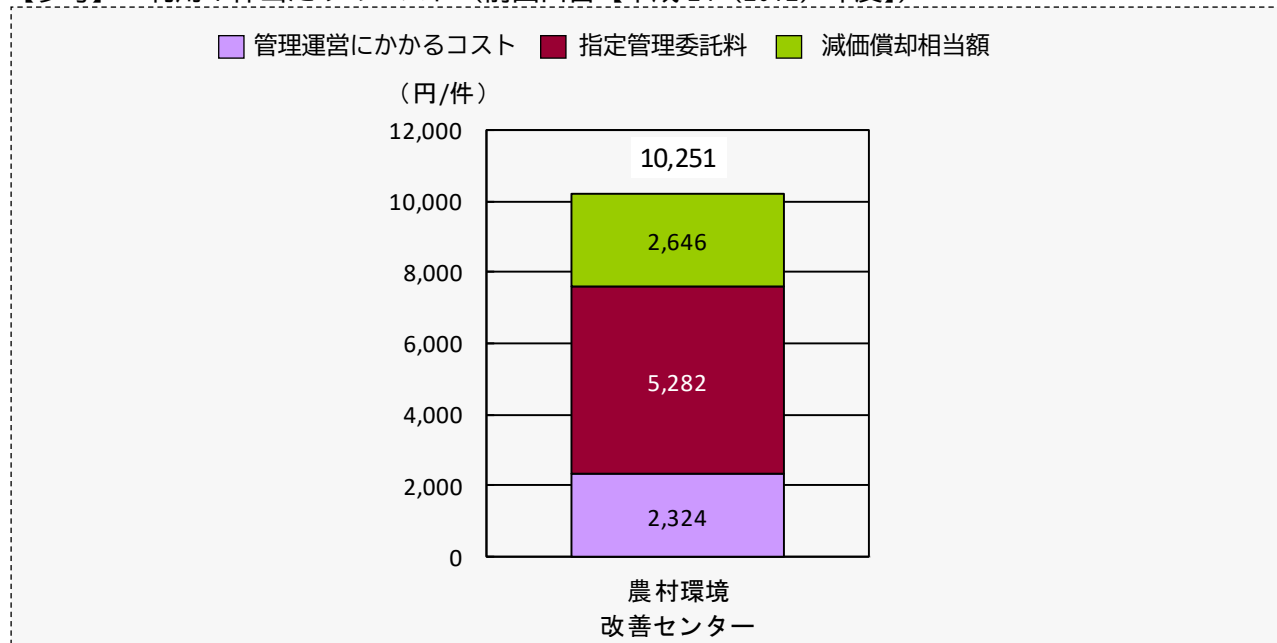
■ 利用 1 件当たりのコスト

年間利用件数とトータルコストから、利用 1 件当たりにかかるコストを算出すると、1 万 537 円となっています。平成 24 (2012) 年度と比較すると、ほぼ同程度と言えます。

図表 利用 1 件当たりのコスト (令和 4 (2022) 年度)



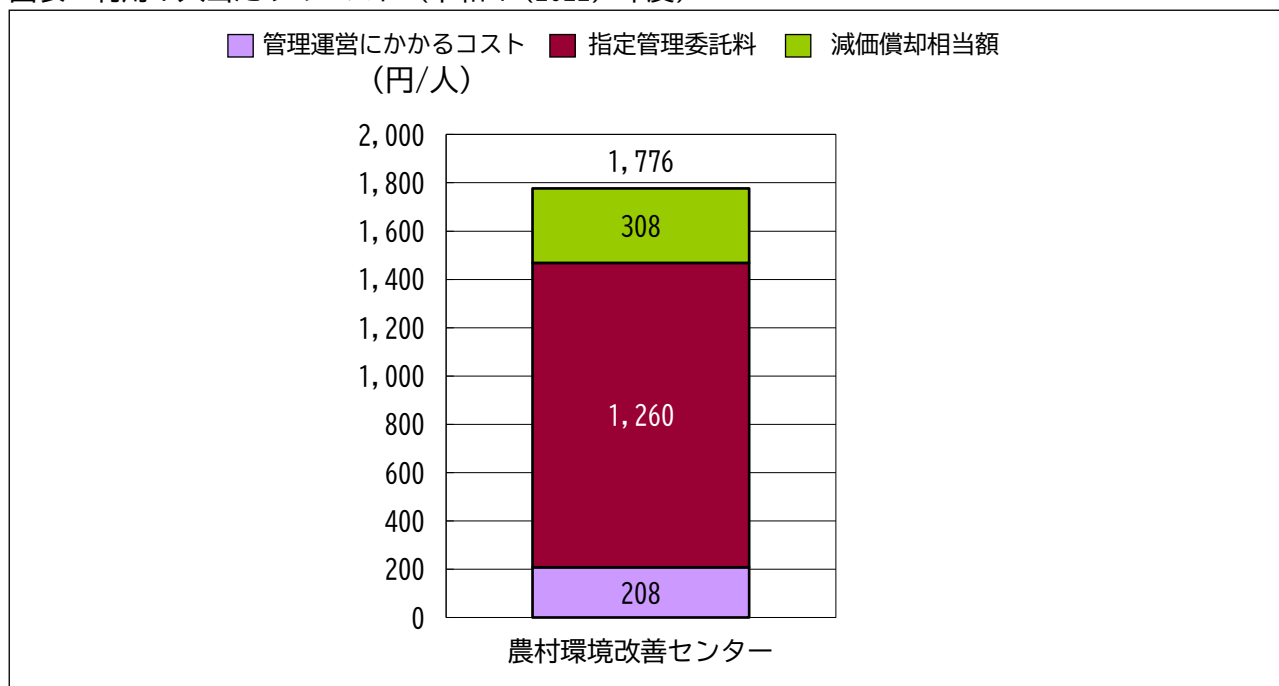
【参考】 利用 1 件当たりのコスト (前回白書【平成 24 (2012) 年度】)



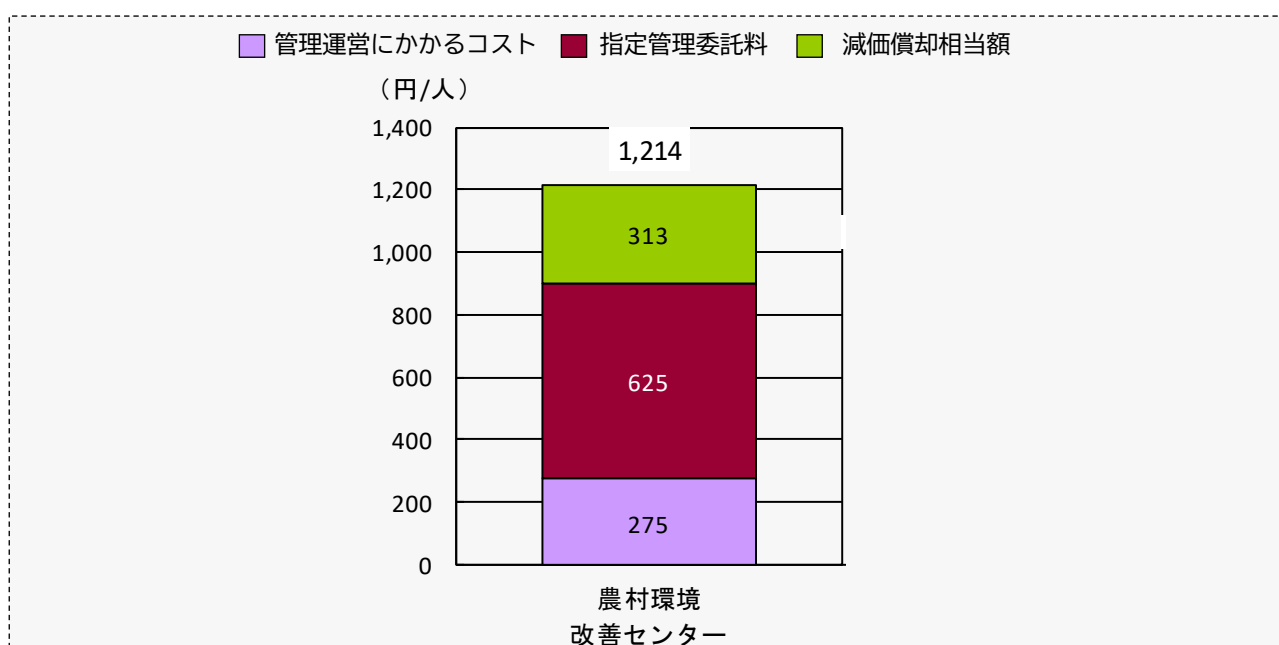
■ 利用者 1 人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、1,776 円/人となっています。平成 24（2012）年度と比較すると、ほぼ同程度と言えます。

図表 利用者 1 人当たりのコスト（令和 4（2022）年度）



図表 利用者 1 人当たりのコスト(前回白書【平成 24（2012）年度】)



■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① 利用件数・利用者数の推移をみると、平成 23（2011）年度から徐々に減少傾向になっています。

≪部屋別の利用実態≫

- ② 農村環境改善センターの稼働率は 20%とほぼ変化していません。
- ③ 部屋別の稼働利率をみると、体育館が 76%と最も多く利用されているのに対し、他の部屋は 20%以下と利用頻度は少なくなっています。これは平成 24（2012）年度の稼働率の傾向と変わっていません。

<コスト状況>

- ④ 1 人当たりコストパフォーマンスは、平成 24（2012）年度と比べ同程度の水準になっています。

4) 課題の明確化

- 稼働率が高い機能もある一方で 10%未満の部屋もあるため、多目的な活用が図れるよう、ニーズに応じた運営のあり方等について検討する必要があります。

(9) 老人福祉センター

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、高齢者が健康の増進、教養の向上、レクリエーションなど地域の人々と、楽しく語らい趣味を通して仲間づくりを行い、健康で明るい生活を楽しんでいただくための施設として老人福祉センターやまゆり荘が設置されていますが、設備の老朽化、利用者の減少等により、令和7（2025）年3月末にサービスを停止しました。

設置目的：多様な学習機会と学習成果が生かせる場を提供するとともに、健康で明るい生活を営めるよう、生きがいを推進することを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	土地 所有	備考
宮寺・ 二本木	1 老人福祉センター やまゆり荘	宮寺2655-1	1,588.84	平成4	RC造	賃貸借 (一部)	

平成●：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す（令和6（2024）年度基準）

出典：「延床面積」 令和4（2022）年度固定資産台帳

② 事業内容

生活、健康等の相談及び指導や教養の向上及びレクリエーションに関する事業を行っています。

③ 開館時間・開館日数

開館時間	休館日	開館日
午前9時～午後4時	月曜日（祝日のときは火曜日も休み） 祝日（敬老の日は除く）、年末年始	294日

※開館日数は入間市施設カルテ令和4（2022）年度の利用関連情報

<利用対象者>

- ・入間市、所沢市、飯能市、狭山市、日高市に居住する満60歳以上の方が対象ですが、60歳未満の方も利用することができます。

④ 配置状況

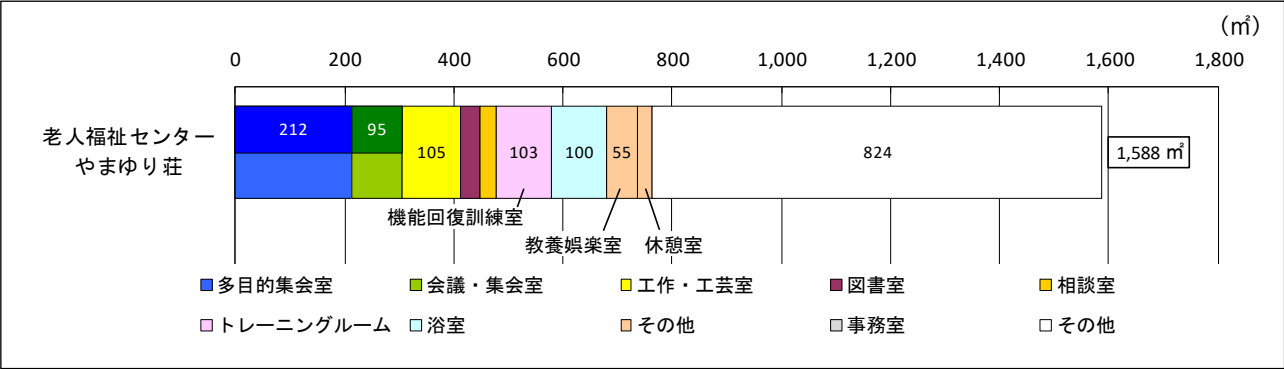
図表 老人福祉センターやまゆり荘位置図



⑤ スペース構成

老人福祉センターやまゆり荘は、延床面積 1,588 m²であり、そのうち集会機能面積が 307 m² (20%) となっています。入浴設備については、衛生管理が十分に確保できないため、令和 6 (2024) 年 2 月に廃止となっています。

図表 スペース構成

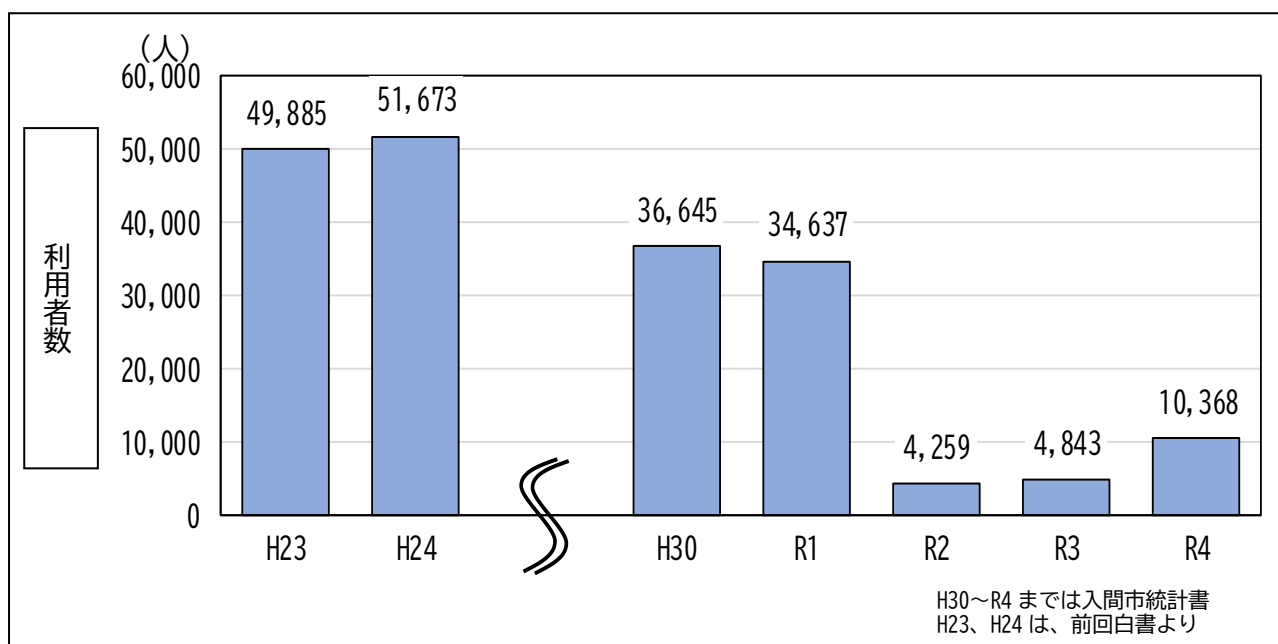


2) 実態把握

① 利用状況

利用者数の推移は、平成 23（2011）年度は 4 万 9,885 人、平成 24（2012）年度は 5 万 1,673 人と横ばいで推移していましたが、平成 30（2018）年度は 3 万 6,645 人、令和元（2019）年度は 3 万 4,637 人と減少し、令和 2（2020）年度以降はさらに減少しています。令和 4（2022）年度は 1 万 368 人となっています。

図表 年間利用者数の推移



※令和 2（2020）～4（2022）年度の利用関連情報は、新型コロナウイルスの影響を受けています。

② コスト情報

老人福祉センターやまゆり荘の年間トータルコストは、1億636万円です。平成24（2012）年度と比較して、約3,000万円トータルコストが増加しています。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは5,390万円（51%）、施設の維持管理を委託している指定管理委託料は4,249万円（40%）、減価償却相当額が997万円（9%）です。

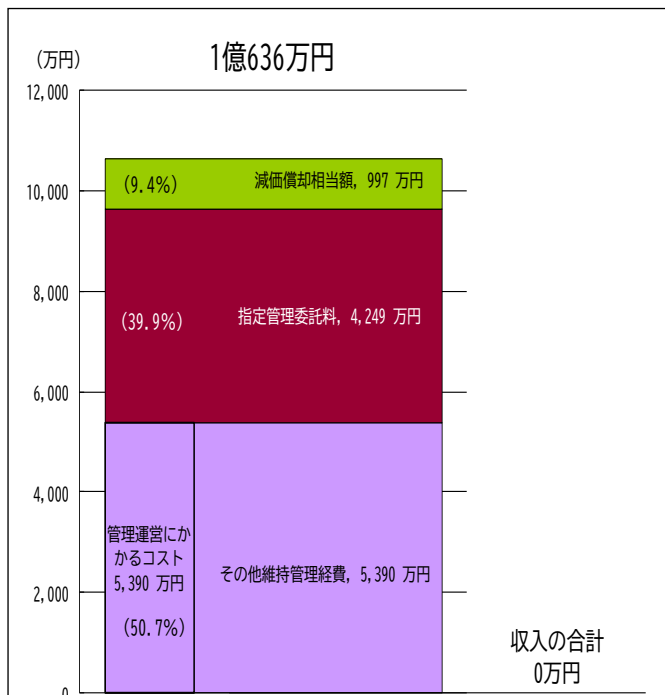
図表 行政コスト計算書（令和4（2022）年度）

		(円)
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		老人福祉センター
管理運営にかかるコスト	使用料及び賃借料	1,217,236
	公有財産購入費	52,291,800
	その他物件費	395,012
	管理運営にかかるコスト	53,904,048
	指定管理委託料	42,489,243
現金収支を伴うコスト 計		96,393,291
【収入の部】		
収入	使用料収入	0
収入の合計		0
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	9,967,300
III. 総括		
コストの部合計（トータルコスト）		106,360,591

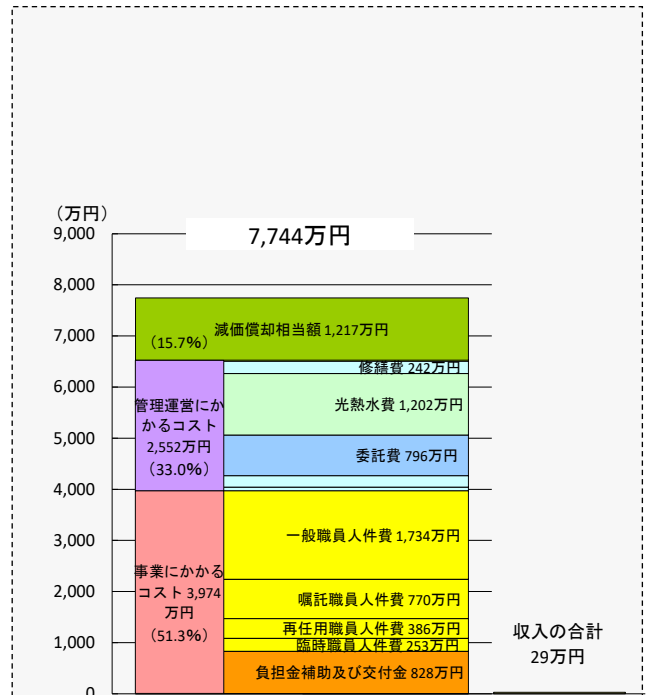
【参考】前回白書【平成24（2012）年度】

		(円)
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		老人福祉センター
管理運営にかかるコスト	車両・備品購入費	203,175
	修繕費	2,415,430
	光熱水費	12,018,433
	委託費	7,964,407
	使用料及び賃借料	2,248,180
	その他物件費	673,727
	管理運営にかかるコスト	25,523,352
	事業にかかるコスト	39,742,390
現金収支を伴うコスト 計		65,265,742
【収入の部】		
収入	使用料収入	286,200
収入の合計		286,200
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	12,169,838
III. 総括		
コストの部合計（トータルコスト）		77,435,580
収支差額（ネットコスト）		77,149,380

図表 トータルコスト（令和4（2022）年度）



【参考】前回白書【平成24（2012）年度】

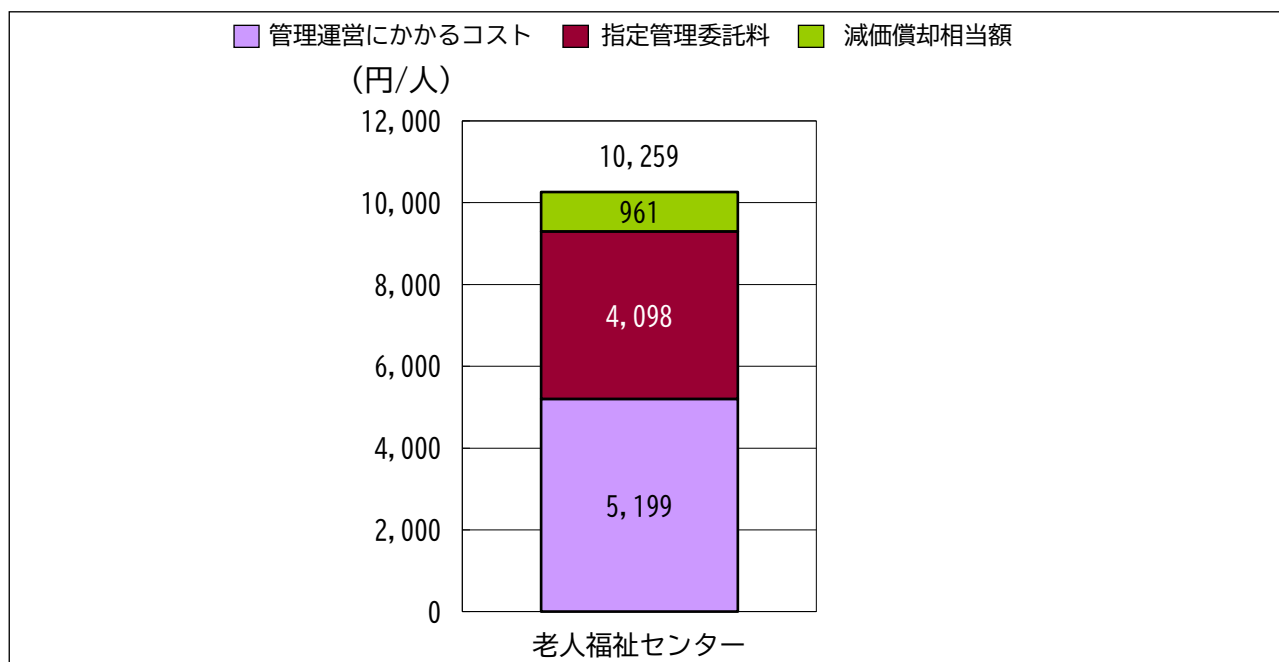


3) 分析

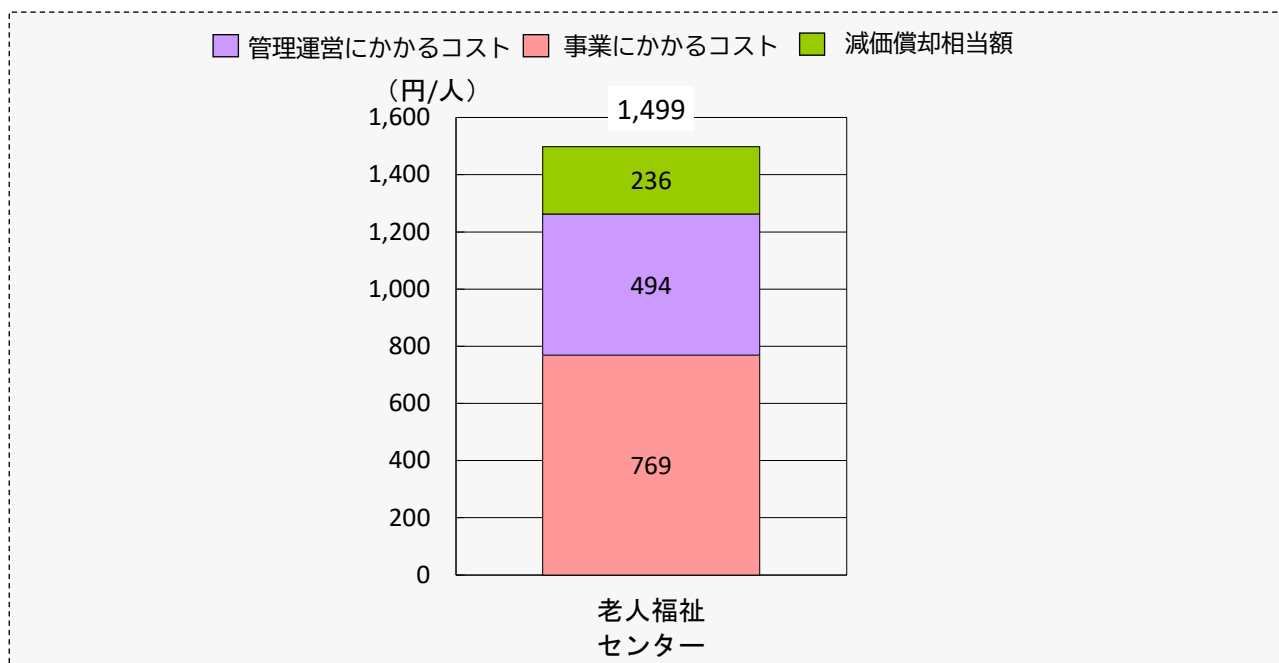
■ 利用者 1 人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、1 万 259 円/人となっています。平成 24（2012）年度と比較して、利用者数は平成 24（2012）年度の 5 万 1,673 人から 1 万 368 人に減少していますが、トータルコストは約 3,000 万円増加しています。

図表 施設別 利用者 1 人当たりのコスト（令和 4（2022）年度）



図表 施設別 利用者 1 人当たりのコスト（前回白書【平成 24（2012）年度】）



■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① 令和 4（2022）年度の利用者は 1 万 368 人で、平成 24（2012）年度と比べ約 4 万人減少しています。新型コロナウイルスの影響を機に大幅に利用者が減少しており、平成 24（2012）年度の 2 割程度に留まっています。

<コスト状況>

- ② トータルコストは、1 億 636 万円で、平成 24（2012）年度と比較して約 3,000 万円増加しています。

4) 課題の明確化

- サービス停止後の建物の利活用について検討する必要があるが、その際には施設・設備の劣化状況を加味して検討する必要があります。

(10) 老人憩いの家

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、老人憩いの家、48 施設の内、46 施設を保有しており、残り 2 施設は、角栄地区自治会連合協議会と個人の所有となっています。施設の運営管理は、地域の健康推進クラブに委託しています。

設置目的：高齢者の生きがいがづくりや心身の健康増進、地域でのコミュニケーションを図るとともに、いつでも気軽に利用できる憩いの場を提供することを目的とする

老人憩いの家の施設規模は、西部長生会老人憩いの家の 62.93 ㎡から西武明寿会老人憩いの家の 112.62 ㎡となっており、平均 82 ㎡となっています。各施設、会議室や和室を 1 室から 3 室保有しています。

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	土地 所有	備考
豊岡	第一	1 霞川団地陽明会老人憩いの家	扇町屋2-9-1	75.36	昭和59	木造	使用許可 (県有)
		2 久保稲荷平成会老人憩いの家	久保稲荷3-32-31	84.88	平成3	木造	賃貸借
		3 扇町屋豊老会老人憩いの家	扇町屋5-1-21	85.00	平成4	木造	市有
	第二	4 八区東会老人憩いの家	東町1-14-4	86.94	昭和57	木造	市有
		5 入間ヶ丘高寿会老人憩いの家	東町7-10-23	63.46	昭和59	木造	市有
	第三	6 黒須団地寿会老人憩いの家	黒須1-12-37	64.59	昭和60	木造	使用貸借
		7 鍵山福寿会老人憩いの家	鍵山3-10-21	82.81	昭和61	木造	市有
		8 高倉高老会老人憩いの家	高倉4-6-17	84.05	平成5	木造	市有
		9 黒須長生会老人憩いの家	黒須1-10-36	76.59	平成6	木造	市有
		10 春日町交友会老人憩いの家	春日町1-11-29	93.78	平成8	木造	賃貸借 (一部)
		11 ダイヤモンドクラブ老人憩いの家	宮前町2-7	74.11	平成15	木造	市有
東金子		12 新久もみじ会老人憩いの家	新久783-1	77.42	昭和59	木造	市有
		13 下小谷田寿会老人憩いの家	小谷田297-1	82.81	昭和61	木造	賃貸借
		14 八津池シニアクラブ老人憩いの家	上小谷田3-2-33	82.81	昭和62	木造	市有
		15 入間台ことばき会老人憩いの家	新久866-255	82.81	昭和62	木造	市有
		16 上小谷田寿会老人憩いの家	小谷田1448-1	82.81	昭和63	木造	市有
		17 新久台さくらの会老人憩いの家	新久970-64	82.40	平成2	木造	市有
		18 小谷田一丁目福寿会老人憩いの家	小谷田1-7-52	88.19	平成9	木造	市有
金子		19 根岸長寿会老人憩いの家	根岸462-1	65.83	昭和57	木造	市有
		20 花ノ木長寿会老人憩いの家	花ノ木158-1	68.62	昭和59	木造	市有
		21 下谷ヶ貫長寿会老人憩いの家	下谷ヶ貫839-1	72.46	昭和59	木造	使用貸借
		22 南峯長寿会老人憩いの家	南峯285-1	82.81	昭和60	木造	賃貸借
		23 上谷ヶ貫長寿会老人憩いの家	上谷ヶ貫643-1	82.81	平成元	木造	使用貸借

(10) 老人憩いの家

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	土地 所有	備考
金子	1 西三ツ木長寿会老人憩いの家	西三ツ木275-18	84.88	平成4	木造	賃貸借	
	2 木蓮寺長寿会老人憩いの家	木蓮寺721-3	86.12	平成5	木造	市有	
	3 寺竹長寿会老人憩いの家	寺竹585-4	84.47	平成5	木造	賃貸借	
宮寺・二本木	4 宮寺松葉会老人憩いの家	宮寺2051-1	82.81	昭和60	木造	賃貸借	
	5 縄竹長生会老人憩いの家	宮寺4102-34	82.81	昭和60	木造	市有	
	6 二本木寿会不老会老人憩いの家	二本木1102-8	82.81	昭和61	木造	市有	
	7 小ヶ谷戸寿会老人憩いの家	宮寺695-1	82.81	昭和61	木造	市有	
	8 南部不老会老人憩いの家	宮寺533-1	82.81	昭和62	木造	市有	
	9 北中野不老会老人憩いの家	宮寺2317-20	82.76	平成元	木造	賃貸借	
	10 宮寺ひむがしクラブ老人憩いの家	宮寺344-3	86.12	平成7	木造	賃貸借	
	11 的場ことぶき会老人憩いの家	宮寺279-3	85.76	平成10	木造	賃貸借	
	12 武蔵台地区むさしの会老人憩いの家	宮寺2965-2	83.78	平成10	木造	市有	
	13 北中野福寿会老人憩いの家	宮寺2821-11	79.50	平成14	木造	市有	
	14 むさし藤沢台悠友クラブ老人憩いの家	宮寺2957-64	77.42	平成18	木造	市有	
藤沢	第一	15 上藤沢第一千歳会老人憩いの家	上藤沢876-1	79.50	昭和59	木造	賃貸借
		16 上藤沢第二千歳会老人憩いの家	上藤沢268-7	82.40	昭和63	木造	市有
		17 上ノ原ふれあい会老人憩いの家	上藤沢403-21	82.81	平成12	木造	賃貸借
		18 藤沢第2支部長寿会老人憩いの家	下藤沢5-1-4	96.06	平成9	木造	使用貸借
		19 藤沢第3支部長寿会老人憩いの家	下藤沢1047-24	82.40	平成元	木造	賃貸借
	第二	20 角栄東部長生会老人憩いの家	東藤沢5-29-10	82.76	昭和62	木造	市有
		21 西部長生会老人憩いの家	東藤沢6-16-16	62.93	昭和57	木造	市有 建物は使用貸借
西武	22 西武清寿会老人憩いの家	仏子363-8	76.18	昭和58	木造	賃貸借	
	23 新光はなみずき会老人憩いの家	野田1134-57	101.85	昭和63	木造	市有	
	24 上仏子老人クラブ親和会憩いの家	仏子227-2	83.63	平成2	木造	市有	
	25 西武明寿会老人憩いの家	仏子1152-1	112.62	昭和54	木造	使用貸借	建物も使用貸借
合計			3,931.35				

昭和●：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す（令和6（2024）年度基準）

出典：「延床面積」 令和4（2022）年度固定資産台帳

② 事業内容

市内に居住する高齢者に対し、健全な憩いの場を与え、心身の健康管理を図るための施設として、健康推進クラブがサークル活動等を行っています。なお、営利を目的とした利用はできません。

③ 開館時間・開館日数

老人憩いの家は、基本的に地域の健康推進クラブが市より管理委託を受け、維持管理や運営を行っているため、開館時間、開館日等は特に定めていません。

④ 予約方法

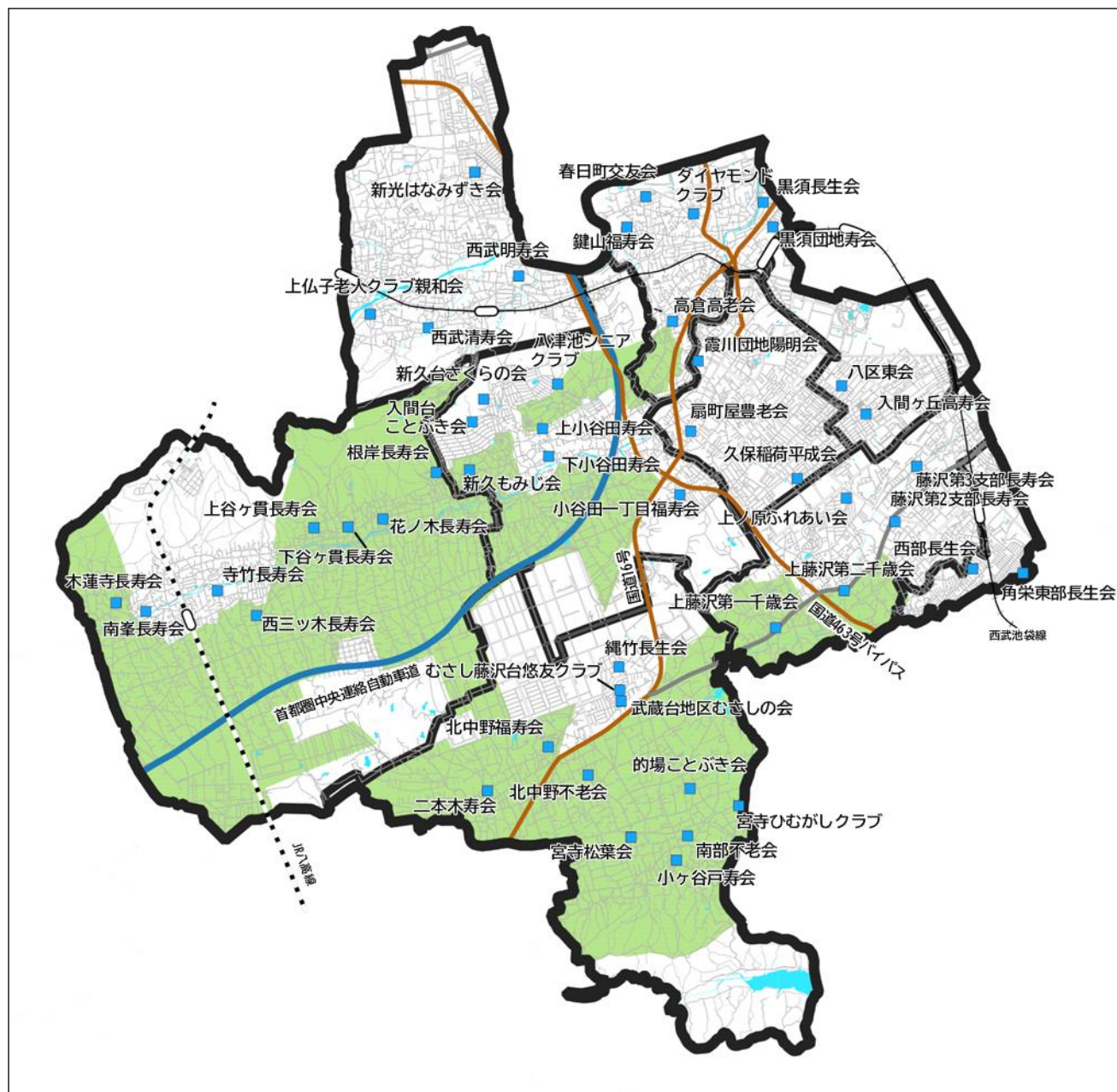
利用対象者は、原則として 60 歳以上の市内居住者となっています。利用申し込みは、管理委託先の健康推進クラブが受け付けています。

■ 使用料金

各施設とも、原則として利用料は無料ですが、必要に応じて光熱水費等実費分の負担があります。

⑤ 配置状況

図表 老人憩いの家位置図



2) 実態把握

① 利用状況

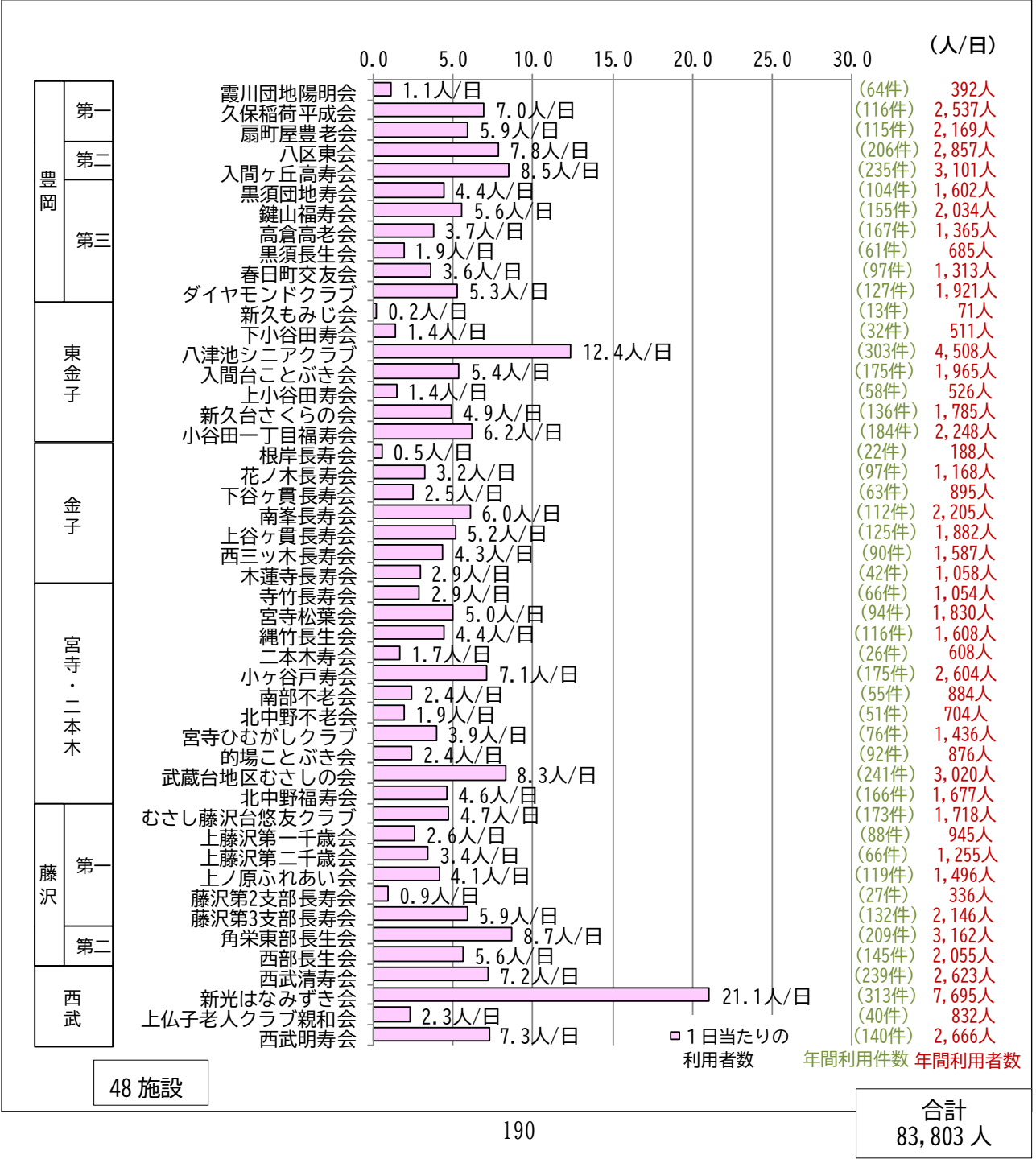
■ 全体の利用状況

令和元（2019）年度の老人憩いの家 48 施設の年間利用件数は 5,748 件、利用者数は 8 万 3,803 人です。

■ 施設別の利用状況

令和元（2019）年度の施設別利用者数をみると、新光はなみずき会老人憩いの家の利用が 1 日 21.1 人/日と最も多く、次いで八津池シニアクラブ、角栄東部長生会となっています。

図表 施設別・部屋別 利用者数（令和元（2019）年度）

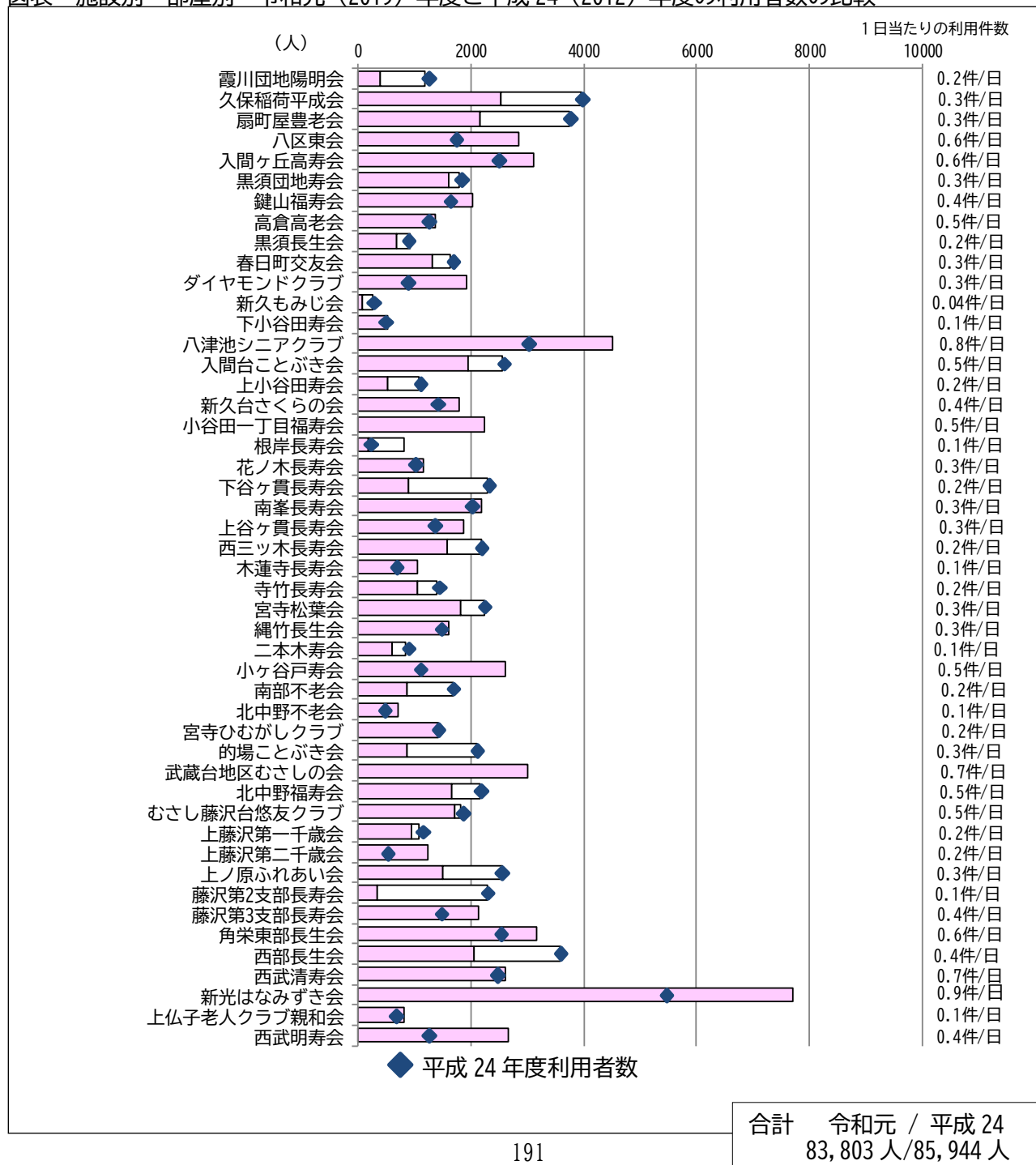


<平成 24 (2012) 年度と令和元 (2019) 年度の比較>

平成 24 (2012) 年度と令和元 (2019) 年度を比較すると、全体で約 5,600 人利用者が減少しています。施設別にみると、平成 24 (2012) 年度より利用者数が増加した施設もありますが、全 48 施設中 24 施設で平成 24 (2012) 年度より利用者数が減少しています。

また、令和元 (2019) 年度の 1 日当たり利用件数をみると、全施設 1 日 1 件の利用がなく、5～10 日に 1 回の利用がほとんどで、最も利用の少ない施設では約 28 日に 1 回程度の利用しかない施設もあります。

図表 施設別・部屋別 令和元 (2019) 年度と平成 24 (2012) 年度の利用者数の比較



② コスト情報

老人憩いの家 48 施設の令和 3（2021）年度の年間トータルコストは、768 万円です。

年間トータルコストは、管理運営にかかるコストのみが計上されています。

図表 施設別行政コスト計算書（令和 3（2021）年度）

(円)

Ⅰ. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		霞川団地陽明会	久保稲荷平成会	扇町屋豊老会	八区東会	入間ヶ丘高寿会	黒須団地寿会	鍵山福寿会	高倉高老会	黒須長生会
にかか る管 理 運 営 の コ ス ト	修繕費	0	0	0	0	103,950	0	0	0	0
	改修費	0	0	643,500	0	0	0	0	0	0
	委託費	0	0	17,966	0	0	0	75,474	0	0
	使用料及び賃借料	0	453,045	0	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	4,251	28,465	31,410	3,859	3,337	3,290	13,726	4,814	5,027
	管理運営にかかるコスト	4,251	481,510	692,876	3,859	107,287	3,290	89,200	4,814	5,027
現金収支を伴うコスト 計		4,251	481,510	692,876	3,859	107,287	3,290	89,200	4,814	5,027
Ⅱ. 現金収支を伴わないもの										
コスト 減価償却相当額		0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ. 総括										
コストの部合計（トータルコスト）		4,251	481,510	692,876	3,859	107,287	3,290	89,200	4,814	5,027

(円)

Ⅰ. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		春日町交友会	ダイヤモンドクラブ	新久もみじ会	下小谷田寿会	八津池シニアクラブ	入間台ことぶき会	上小谷田寿会	新久台さくらの会	小谷田一丁目福寿会
にかか る管 理 運 営 の コ ス ト	修繕費	0	0	0	0	15,840	0	0	0	154,000
	改修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託費	0	0	0	0	0	350,474	0	43,134	17,967
	使用料及び賃借料	440,250	0	0	307,600	0	0	0	0	0
	その他物件費	6,019	4,727	4,199	4,597	4,693	15,098	4,863	10,197	36,380
	管理運営にかかるコスト	446,269	4,727	4,199	312,197	20,533	365,572	4,863	53,331	208,347
現金収支を伴うコスト 計		446,269	4,727	4,199	312,197	20,533	365,572	4,863	53,331	208,347
Ⅱ. 現金収支を伴わないもの										
コスト 減価償却相当額		0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ. 総括										
コストの部合計（トータルコスト）		446,269	4,727	4,199	312,197	20,533	365,572	4,863	53,331	208,347

(円)

Ⅰ. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		根岸長寿会	花ノ木長寿会	下谷ヶ貫長寿会	南峯長寿会	上谷ヶ貫長寿会	西三ツ木長寿会	木蓮寺長寿会	寺竹長寿会	宮寺松葉会
にかか る管 理 運 営 の コ ス ト	修繕費	0	97,460	0	88,000	0	468,600	22,000	0	0
	改修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託費	0	75,474	72,394	0	0	72,394	72,394	0	75,474
	使用料及び賃借料	0	0	0	340,599	0	134,053	0	321,234	120,200
	その他物件費	10,241	14,131	9,344	4,755	5,166	9,588	9,811	4,913	15,212
	管理運営にかかるコスト	10,241	187,065	81,738	433,354	5,166	684,635	104,205	326,147	210,886
現金収支を伴うコスト 計		10,241	187,065	81,738	433,354	5,166	684,635	104,205	326,147	210,886
Ⅱ. 現金収支を伴わないもの										
コスト 減価償却相当額		0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ. 総括										
コストの部合計（トータルコスト）		10,241	187,065	81,738	433,354	5,166	684,635	104,205	326,147	210,886

(10) 老人憩いの家

(円)

Ⅰ. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		縄竹長生会	二本木寿会	小ヶ谷戸寿会	南部不老会	北中野不老会	宮寺ひむがしクラブ	的場ことぶき会	武蔵台地区むさしの会	北中野福寿会
にかか る管理 運営 コスト	修繕費	0	0	0	24,200	0	0	0	0	0
	改修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託費	0	72,393	75,473	75,473	43,134	72,394	72,394	0	72,394
	使用料及び賃借料	0	0	0	0	135,406	199,732	166,950	0	0
	その他物件費	4,412	17,434	13,748	14,319	8,794	10,002	10,753	29,860	10,642
	管理運営にかかるコスト	4,412	89,827	89,221	113,992	187,334	282,128	250,097	29,860	83,036
	現金収支を伴うコスト 計	4,412	89,827	89,221	113,992	187,334	282,128	250,097	29,860	83,036
Ⅱ. 現金収支を伴わないもの										
コスト 減価償却相当額		0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ. 総括										
コストの部合計 (トータルコスト)		4,412	89,827	89,221	113,992	187,334	282,128	250,097	29,860	83,036

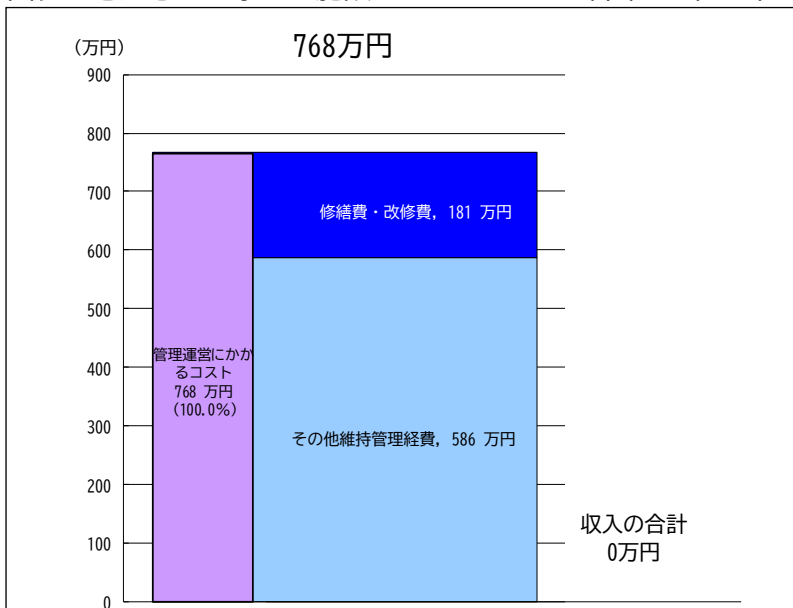
(円)

Ⅰ. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		むさし藤沢台 悠友クラブ	上藤沢第一 千歳会	上藤沢第二 千歳会	上ノ原ふれあ い会	藤沢第2支部 長寿会	藤沢第3支部 長寿会	角栄東部長 生会	西部長生会	西武清寿会
にかか る管理 運営 コスト	修繕費	0	0	0	11,781	0	0	0	24,200	158,125
	改修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託費	0	72,393	0	0	0	0	0	17,967	0
	使用料及び賃借料	0	158,710	0	332,877	0	389,291	0	0	469,452
	その他物件費	3,414	9,483	5,018	5,546	5,778	4,372	4,814	0	7,482
	管理運営にかかるコスト	3,414	240,586	5,018	350,204	5,778	393,663	4,814	42,167	635,059
	現金収支を伴うコスト 計	3,414	240,586	5,018	350,204	5,778	393,663	4,814	42,167	635,059
Ⅱ. 現金収支を伴わないもの										
コスト 減価償却相当額		0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ. 総括										
コストの部合計 (トータルコスト)		3,414	240,586	5,018	350,204	5,778	393,663	4,814	42,167	635,059

(円)

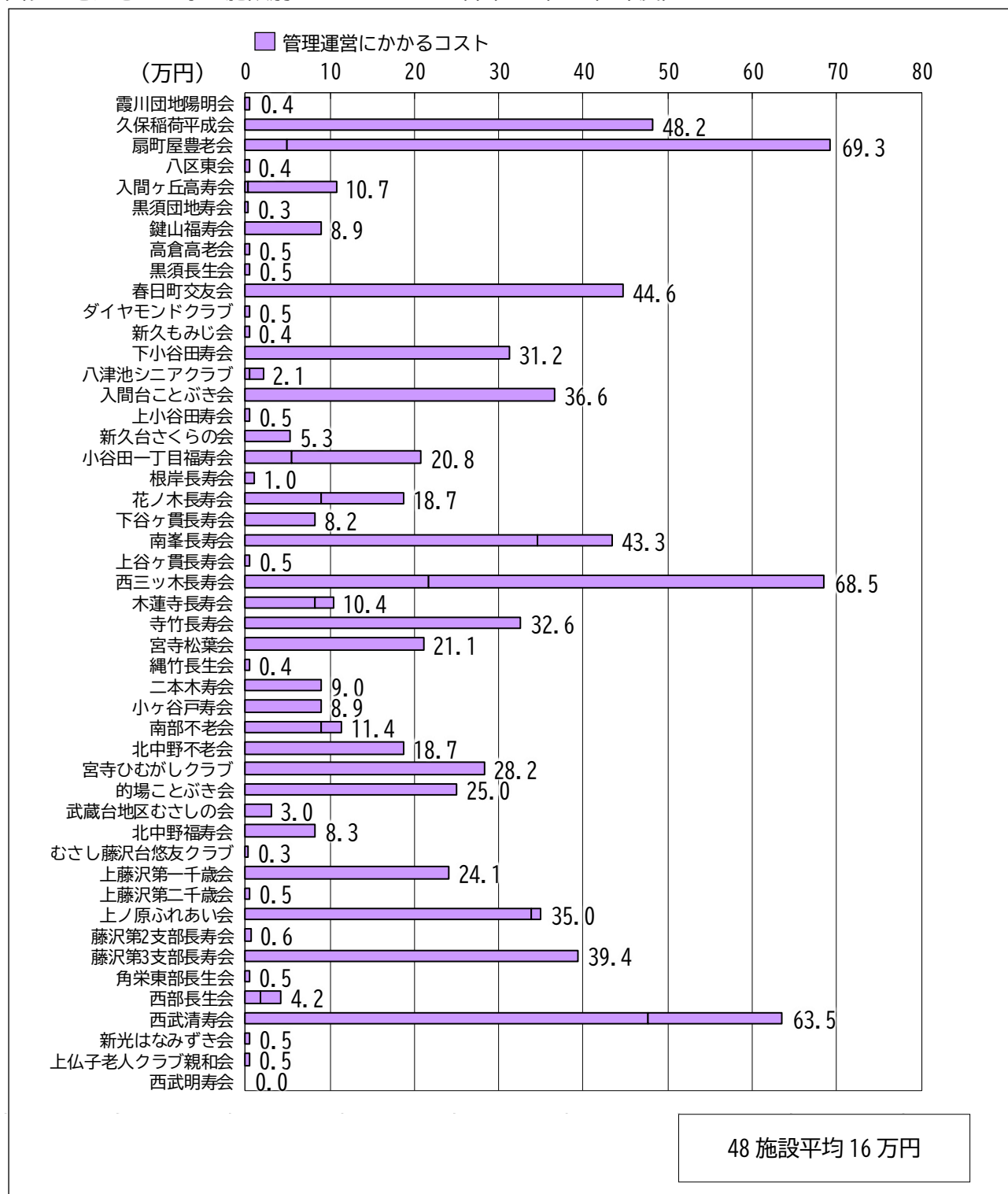
Ⅰ. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		新光はなみ ずき会	上仏子老人 クラブ親和会	西武明寿会	小計	合計
にかか る管理 運営 コスト	修繕費	0	0	0	1,168,156	1,168,156
	改修費	0	0	0	643,500	643,500
	委託費	0	0	0	1,447,160	1,447,160
	使用料及び賃借料	0	0	0	3,969,399	3,969,399
	その他物件費	5,076	4,798	0	447,858	447,858
	管理運営にかかるコスト	5,076	4,798	0	7,676,073	7,676,073
	現金収支を伴うコスト 計	5,076	4,798	0	7,676,073	7,676,073
Ⅱ. 現金収支を伴わないもの						
コスト 減価償却相当額		0	0	0	0	0
Ⅲ. 総括						
コストの部合計 (トータルコスト)		5,076	4,798	0	7,676,073	7,676,073

図表 老人憩いの家 全施設トータルコスト (令和3(2021)年度)

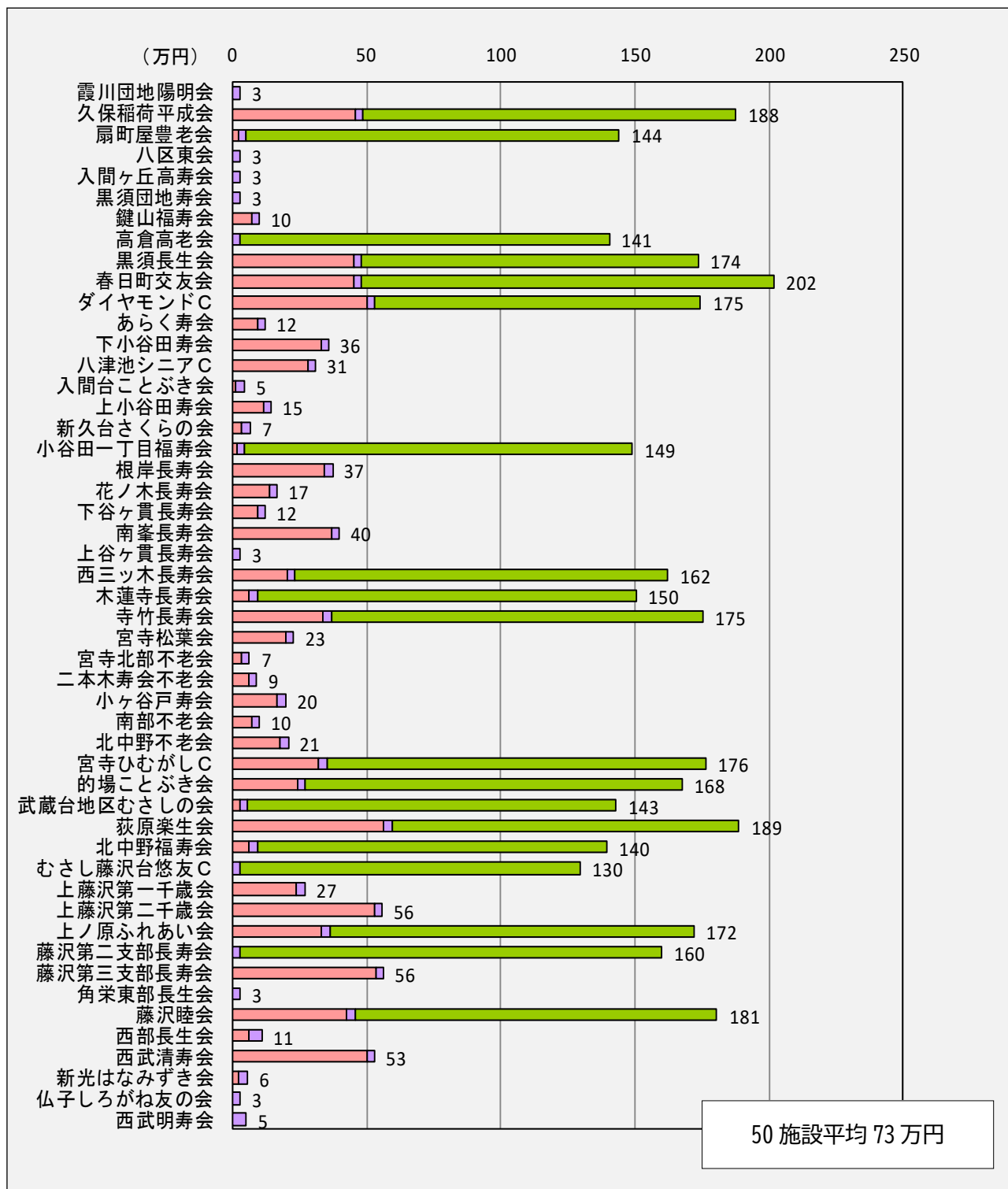


施設別トータルコストでは、黒須団地寿会・むさし藤沢台悠友クラブの3千円台から扇町屋豊老会の69万円までで、48施設の平均は16万円となっています。平成24(2012)年度は、霞川団地陽明会老人憩いの家他7施設の3万円から春日町交友会老人憩いの家の202万円までで、50施設の平均は73万円となっていましたので、全体的にコストは縮小傾向となっています。

図表 老人憩いの家 施設別トータルコスト（令和3(2021)年度）



【参考】 老人憩いの家 施設別トータルコスト（前回白書【平成 24（2012）年度】）



■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① 老人憩いの家の利用者数は、8万3,809人と平成24（2012）年度と比較して、約5,600人減少しており、施設別にみると、全48施設中24施設で利用者が減少しています。

<コスト状況>

- ② トータルコストは768万円で、管理運営にかかるコストのみが計上されています。

3) 課題の明確化

- 5～10日に1回程度の利用の施設がほとんどであり、あまり利用されていません。地域の健康推進クラブが管理運営を行っていることも踏まえ、健康推進クラブの利用がなくなった際の施設のあり方について検討する必要があります。

(11) 扇台福祉作業所

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、障害者福祉施設を1施設保有しています。扇台福祉作業所の管理運営は、平成18(2006)年度から指定管理者に委託しています。

設置目的：就労能力の限られている心身障害者に、自活に必要な職業訓練、生活指導等を行い、社会的自立を促すことを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	土地 所有	備考
豊岡 第一	1 扇台福祉作業所	扇台2-7-26	452.08	平成5	S造	市有	

平成●：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す（令和6（2024）年度基準）

出典：「延床面積」 令和4（2022）年度固定資産台帳

② 事業内容

障がいのある方が豊かで充実した地域生活を送れるように、作業活動や健康活動、余暇活動、社会参加活動等の機会を提供しています。

- ・染色製品やさをり製品などの自主制作と販売に関すること
- ・心身障害者に必要な職業訓練に関すること
- ・生活指導に関すること
- ・体力の向上と健康管理に関すること

③ 開館時間・開館日数

開館時間	休館日	開館日数
午前9時～午後4時 (月曜日～金曜日)	土曜・日曜・祝日・夏季休暇 年未年始	237日

※開館日数は入間市施設カルテ令和4（2022）年度の利用関連情報

<利用対象者>

- ・入間市に住所を有する15歳以上の心身障がい者が対象で、入所定員は19名です。

④ 配置状況

図表 扇台福祉作業所位置図



2) 実態把握

■ コスト情報

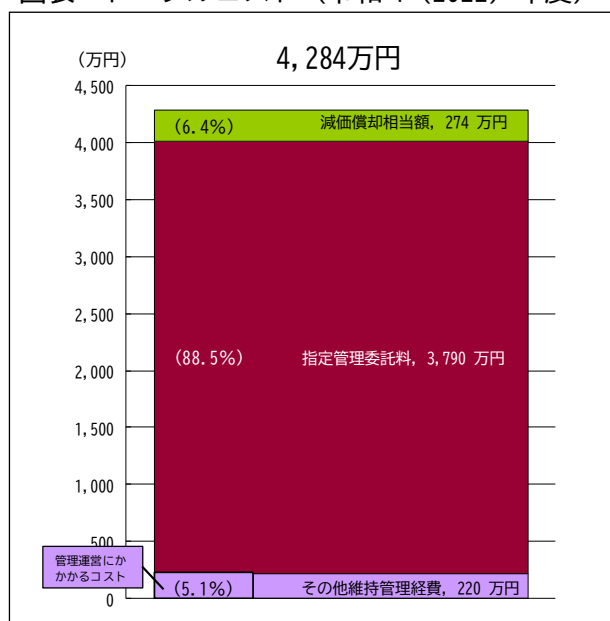
扇台福祉作業所の年間トータルコストは、4,284 万円です。平成 24 (2012) 年度と同程度となっています。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは 220 万円 (5%)、指定管理委託料にかかるコストは 3,790 万円 (89%)、減価償却相当額は 274 万円 (6%) となっています。

図表 施設別行政コスト計算書 (令和 4 (2022) 年度)
(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		扇台福祉 作業所
に管 か理 か運 る営 コスト	使用料及び賃借料	2,188,960
	その他物件費	11,200
	管理運営にかかるコスト	2,200,160
指定管理委託料		37,896,000
現金収支を伴うコスト 計		40,096,160
【収入の部】		
収入	使用料収入	0
収入の合計		0
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	2,741,030
III. 総括		
コストの部合計(トータルコスト)		42,837,190

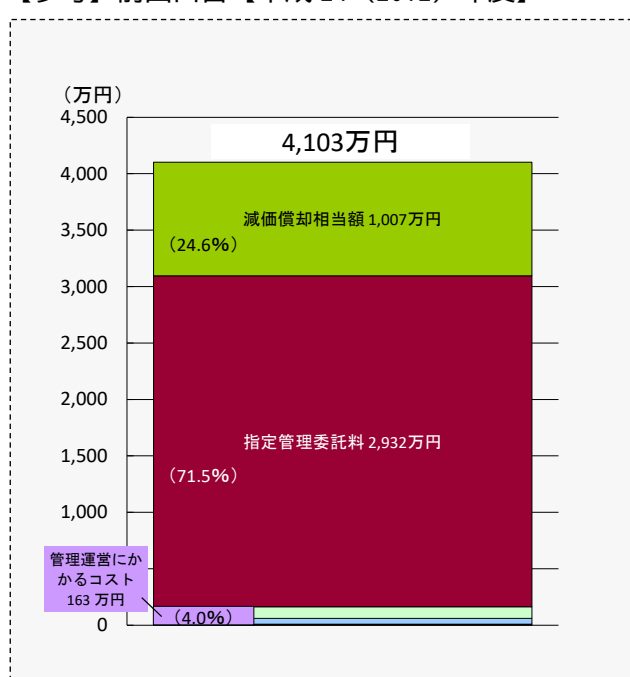
図表 トータルコスト (令和 4 (2022) 年度)



【参考】前回白書【平成 24 (2012) 年度】

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		扇台福祉 作業所	障害者活動 センター	合計
に管 か理 か運 る営 コスト	光熱水費	0	1,022,869	1,022,869
	委託費	132,000	384,315	516,315
	その他物件費	8,396	83,945	92,341
	管理運営にかかるコスト	140,396	1,491,129	1,631,525
指定管理委託料		29,321,459	0	29,321,459
現金収支を伴うコスト 計		29,461,855	1,491,129	30,952,984
【収入の部】				
収入	使用料収入	0	0	0
収入の合計		0	0	0
II. 現金収支を伴わないもの				
コスト	減価償却相当額	4,786,729	5,286,638	10,073,368
III. 総括				
コストの部合計(トータルコスト)		34,248,584	6,777,767	41,026,352
収支差額(ネットコスト)		34,248,584	6,777,767	41,026,352

【参考】前回白書【平成 24 (2012) 年度】



3) 分析

■ 分析のまとめ

<コスト状況>

- ① トータルコストは4,284 万円で、平成 24（2012）年度と同程度となっています。

4) 課題の明確化

- 施設の老朽化状況を勘案しながら提供するサービスニーズに応じた施設のあり方について検討する必要があります。

(12) 健康福祉センター

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、健康福祉センターを保有しています。健康福祉センターの管理運営は、市の直営となっています。

設置目的：保健、医療及び福祉的機能の一体化と健康づくりの推進を事業の柱とし、誰もが生涯にわたり、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができる社会、市民の主体的な健康の増進や疾病の予防を支援する体制を実現することを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	土地 所有	備考
藤沢 第一	1 健康福祉センター	上藤沢730 - 1	7,956.77	平成14	RC造	賃貸借 (一部)	

出典：「延床面積」 令和 4（2022）年度固定資産台帳

② 事業内容

保健、医療、福祉及び健康づくりに関する事業や夜間診療所の管理運営、各種検診や指導相談事業を実施しています。

- ・成人健診・がん検診等に関すること
- ・献血推進事業
- ・妊産婦・乳幼児の健康診査
- ・健康に関する指導相談、健康教室
- ・予防接種
- ・親子の保健の指導相談
- ・感染症に関する指導相談 など

③ 開館時間・開館日数

開館時間	休館日	開館日数
午前 8 時 30 分～午後 10 時	年末年始	358 日

※開館日数は入間市施設カルテ令和 4（2022）年度の利用関連情報

④ 予約方法

<入間市夜間診療所>

内科または小児科の初期の救急診療

診療日：日曜日・月曜日・木曜日・土曜日（12 月 31 日から 1 月 2 日の間は休診です。）

診療時間：午後 7 時 30 分から 10 時 30 分まで

電話 04-2966-5515（上記診療時間のみ）

■ 使用料金

<団体施設利用>

施設使用料一覧

施設名	午前 9 時から 午前 12 時	午後 1 時から 午後 5 時	【夜間】 午後 5 時 30 分 から午後 10 時	【全日】 午前 9 時から 午後 10 時
201 会議室	200 円	300 円	300 円	700 円
202 会議室	200 円	300 円	300 円	700 円
203 会議室	200 円	300 円	300 円	700 円
調理実習室	900 円	1,200 円	1,300 円	3,000 円
301 会議室	1,800 円	2,400 円	2,700 円	6,200 円
302 会議室	900 円	1,200 円	1,300 円	3,000 円
スタジオ	500 円	600 円	700 円	1,600 円

- ・ 使用する日の 3 か月前の同日から申し込みができます。ただし、市の事業等で貸し出しできない場合があります。
- ・ 健康、医療、福祉、環境、文化、スポーツ及びまちづくり活動を目的とする団体が使用できます。（企業等の会議、研修、講演や販売促進イベントなどの営利を目的とした利用には貸し出しを行っておりません）
- ・ 施設利用の申し込みは、祝日を除く月曜日から土曜日の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分の間に健康管理課までお願いします。
- ・ スタジオの利用時間は、月曜日から土曜日までは午前 9 時から午後 9 時まで、日曜日及び祝日は午前 9 時から午後 5 時までです。

<個人利用施設>

トレーニング室使用料

利用区分	15 歳以上
1 回券	400 円
回数券（11 回券）	4,000 円
障害者	100 円
超過料金（2 時間ごと）	400 円
シャワー使用料	100 円

- ・ 月曜日から土曜日午前 9 時から午後 9 時まで（受付は午後 8 時まで）
- ・ 日曜日及び祝日午前 9 時から午後 5 時まで（受付は午後 4 時まで）
- ・ 利用時間は 2 時間までとし、2 時間を超える利用をした者（障害者を含む。）は、過料金を納めていただきます。

※利用条件は、15 歳以上（中学生を除く）で、センターが行う講習を修了した方

※市内、所沢市、飯能市、狭山市若しくは日高市以外の地域にお住まいの方（市内に在勤または在学する方を除く）は倍額となります。

<利用対象者>

- ・ 市内に居住する市民の方（ご利用になるサービスにより異なります）

⑤ 配置状況

図表 健康福祉センター位置図



2) 実態把握

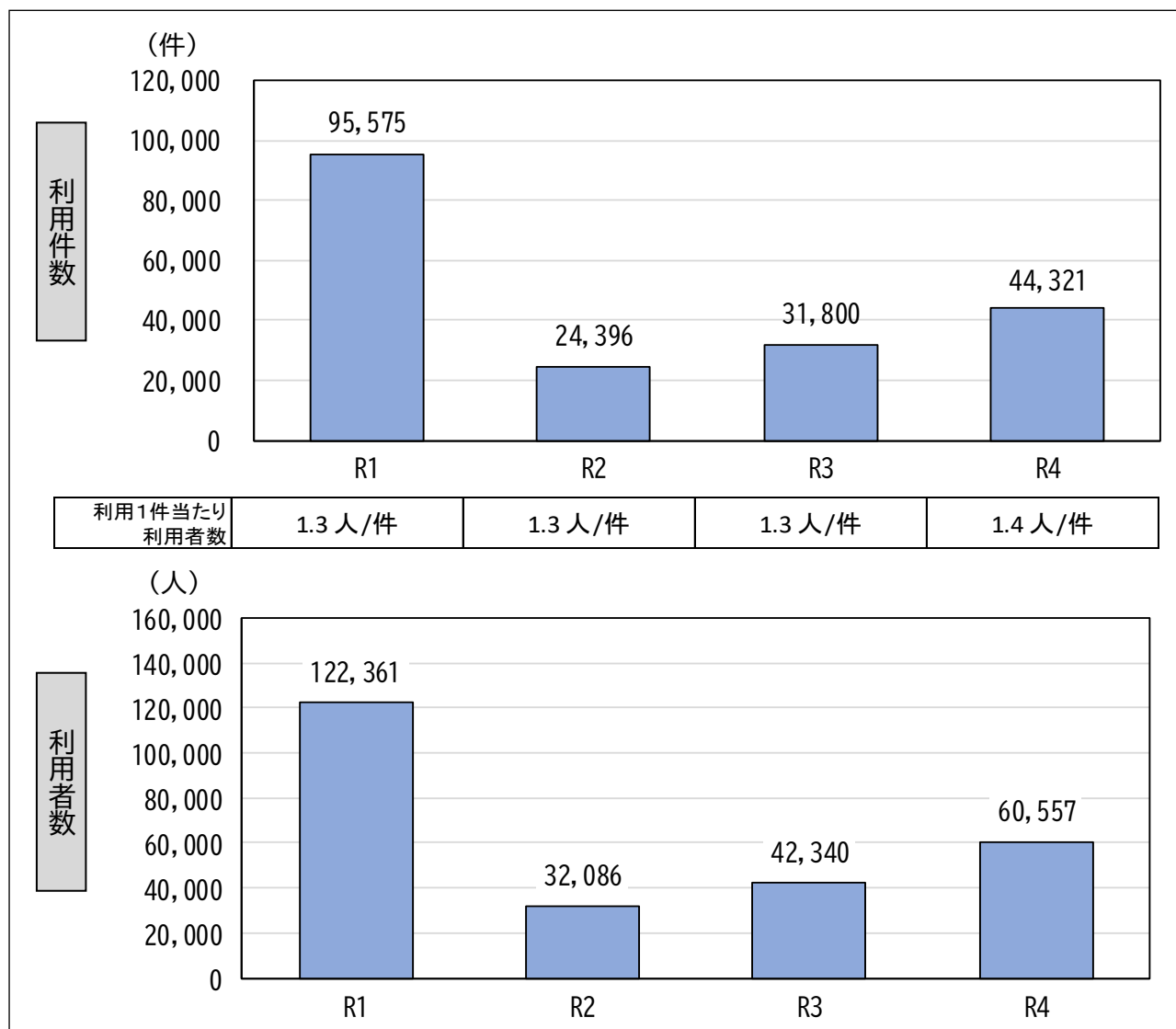
① 利用状況

■ 利用推移

利用件数の推移は、令和元（2019）年度の9万5,575件から令和2（2020）年度に一旦落ち込みましたが、令和4（2022）年度には4万4,321件と増加傾向で推移しています。利用者数も令和2（2020）年度に一旦落ち込みましたが、それ以降は増加傾向になっており、令和4（2022）年度は6万5,557人となっています。利用1件当たりの利用者数は、令和元（2019）年度から令和4（2022）年度では1.3人/件から1.4人/件となっています。

令和4（2022）年度の運営日数は358日のため、1日当たり平均169人の利用があったこととなります。

図表 利用件数及び利用者数の推移



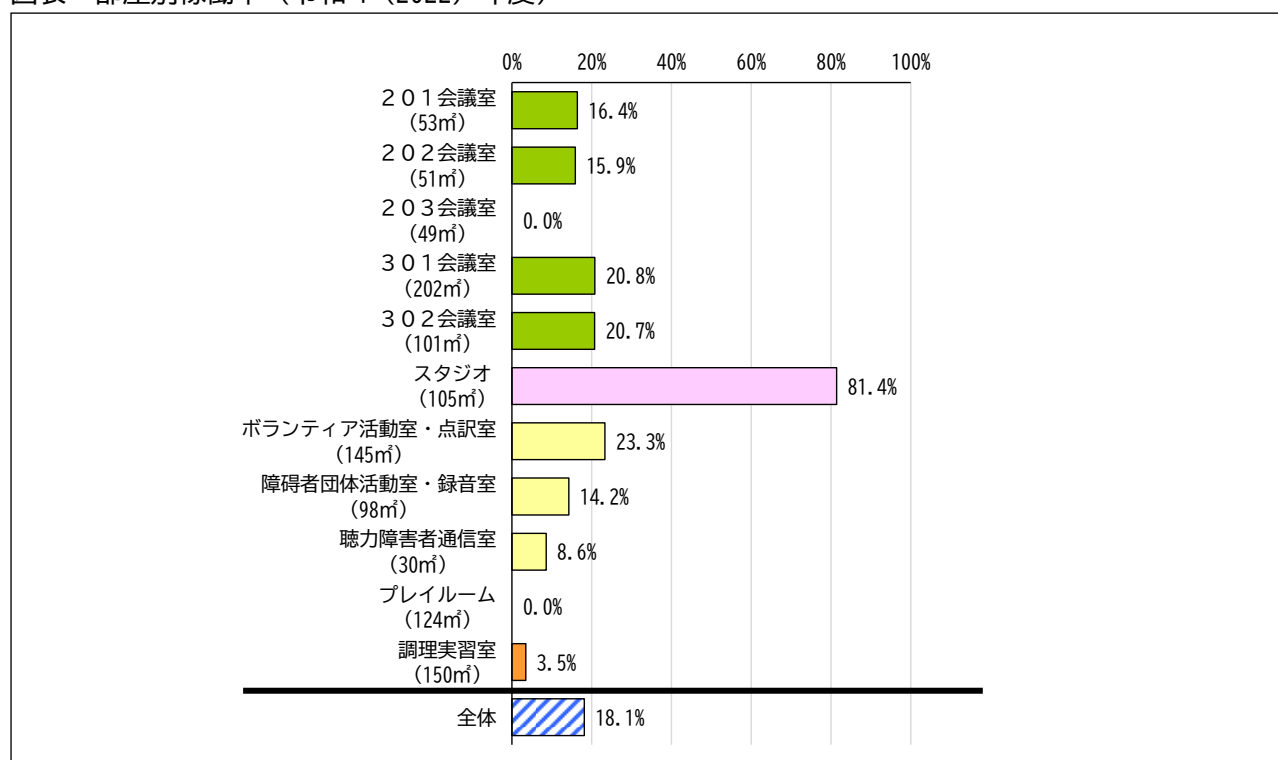
※令和2（2022）年度の利用関連情報は、新型コロナウイルスの影響を受けています。

■ 部屋別稼働率

健康福祉センターの全体稼働率は約 18%です。

部屋別にみると、スタジオ（軽運動室）が最も高く約 81%、次いでボランティア活動室・点訳室、301 会議室、302 会議室の順になっています。301 会議室、302 会議室については、301 会議室の定員が 120 名、302 会議室の定員が 80 名であり、定員 30 名の 201、202、203 会議室と比較して、若干稼働率が高くなっています。

図表 部屋別稼働率（令和 4（2022）年度）



② コスト情報

健康福祉センターの年間トータルコストは、26 億 7,523 万円です。平成 24 (2012) 年度と比較して、約 11 億円程度増加しています。要因として、修繕費が約 2 倍、新型コロナウイルスのワクチン接種関連事業（委託）等の追加により事業にかかる委託費が約 2.3 倍になっていることなどが考えられます。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは 5 億 3,236 万円（20%）、事業にかかるコストは 20 億 8,699 万円（78%）、減価償却相当額は 5,588 万円（2%）です。

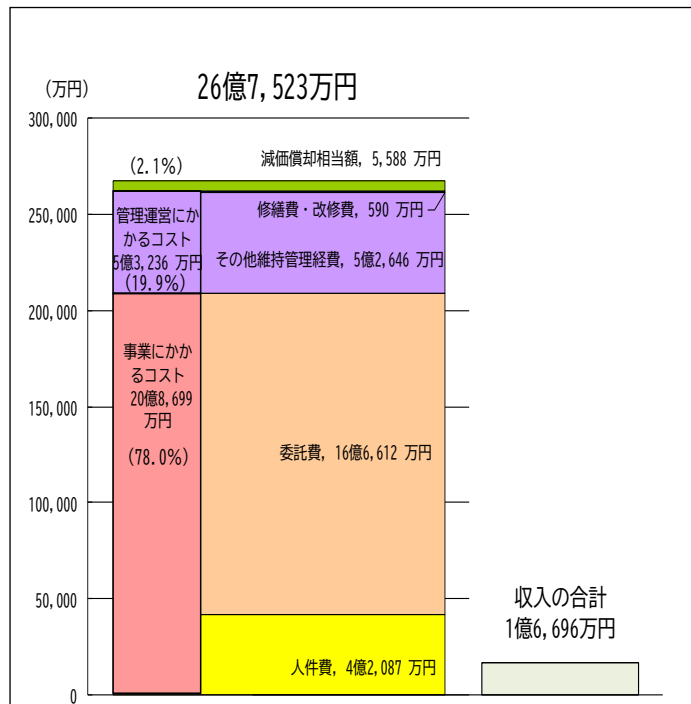
図表 行政コスト計算書（令和 4（2022）年度）

		(円)
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		健康福祉センター
管理運営にかかるコスト	修繕費	5,897,170
	光熱水費	31,925,253
	委託費	55,478,500
	使用料及び賃借料	54,943,099
	その他物件費	384,115,290
	管理運営にかかるコスト	532,359,312
	事業にかかるコスト	2,086,985,493
現金収支を伴うコスト 計		2,619,344,805
【収入の部】		
収入	使用料収入	166,956,060
収入の合計		166,956,060
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	55,882,278
III. 総括		
コストの部合計（トータルコスト）		2,675,227,083

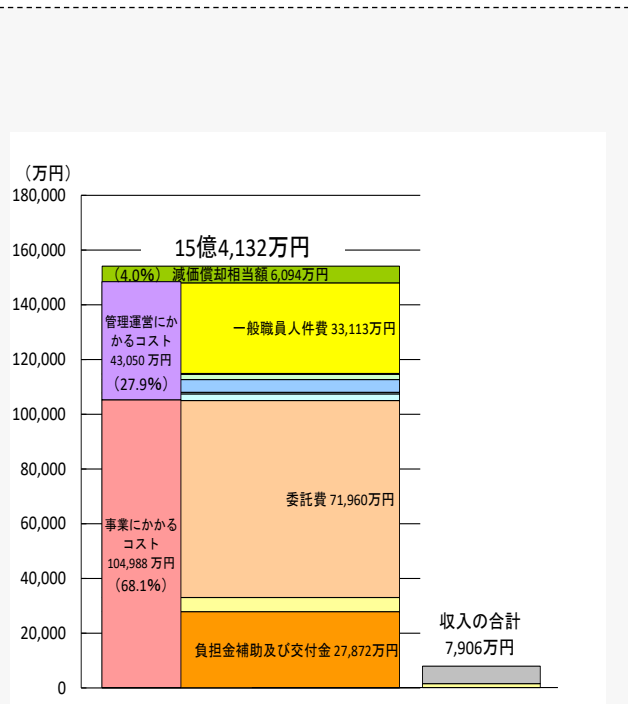
【参考】 前回白書（平成 24（2012）年度）

		(円)
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		健康福祉センター
管理運営にかかるコスト	一般職員人件費	331,133,537
	修繕費	2,701,706
	光熱水費	19,271,702
	委託費	46,985,728
	使用料及び賃借料	5,355,012
	その他物件費	25,053,223
	管理運営にかかるコスト	430,500,908
事業にかかるコスト	委託費	719,604,472
	使用料及び賃借料	51,561,245
	負担金補助及び交付金	278,717,725
	事業にかかるコスト	1,049,883,442
現金収支を伴うコスト 計		1,480,384,350
【収入の部】		
収入	使用料収入	14,389,000
	諸収入	64,669,208
収入の合計		79,058,208
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	60,937,813
III. 総括		
コストの部合計（トータルコスト）		1,541,322,163
収支差額（ネットコスト）		1,462,263,955

図表 健康福祉センタートータルコスト（令和 4（2022）年度）



【参考】 前回白書（平成 24（2012）年度）



■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① 利用件数・利用者数の推移をみると、新型コロナウイルスの影響により一旦落ち込んだが、令和4（2022）年度にかけて増加しており、回復の傾向があります。

≪部屋別の利用実態≫

- ② 健康福祉センターの稼働率は、全体で18%となっており、諸室別にみるとスタジオを除いて利用率が20%以下程度となっています。

<コスト状況>

- ③ 新型コロナウイルスのまん延によるワクチン接種関連事業（委託）等が発生したことにより、事業にかかる費用が平成24（2012）年度と比較して約2倍になっています。

3) 課題の明確化

- 社会情勢の変化に応じてサービスについての必要性や施設のあり方も変わるため、変化に応じて今後のあり方を見直すとともに、それに合わせて施設機能や組織、管理運営主体など、効果的・効率的な施設運営のための見直しを検討する必要があります。